

社会福祉法人 育明会

事業所別 報告書

2019年度

事業報告書

特別養護老人ホーム

レジデンシャル百合ヶ丘

介護老人福祉施設（ユニット型）

介護老人福祉施設（従来型）

短期入所生活介護

介護予防短期入所生活介護

目次

I. 総論	2
1. 財務	3
2. 組織	4
3. サービス	5
4. 人材育成	6
5. 利用者の権利擁護	8
6. 地域との連携	8
7. リスクマネジメント	10
8. 事務管理体制	10
9. 諸規定の遵守及び検討	11
10. 防災対策及び施設の保全対策	11
11. 委員会活動	11
12. 行事・クラブ活動	12
13. 援助サービス各論	15
14. 短期入所生活介護サービス	24
15. 2019年度活動一覧	25
16. 各部署・委員会等からの活動報告	29

I. 総論

2019 年度事業総括

2019 年度は、川崎営業所（R 百合ヶ丘）の運営の立て直しが喫緊の課題でしたが、低迷の要因であった人材の確保・定着が図られてきたことに伴い徐々に入居稼働率を上げることができました。

2020 年 1 月からは、念願であった 4 番街をオープン、ショートステイ事業を開始することができました。しかし、その直後の新型コロナウイルス感染症の発生、拡大、それに続く緊急事態宣言、等々の影響を受け年間稼働率 86.7% に留まり目標であった 95% 以上の稼働率を達成できませんでした。

しかし、職員のポテンシャルも高いことから早期の稼働率アップと維持を目指していきます。

特筆すべき事としては、2019 年 9 月 16 日に福田紀彦川崎市長、他幹部職員ご一行様が敬老訪問に来られ、入居者始め佐原理事長に親しくご挨拶と労いを頂戴いたしました。また、10 月には、西塔の越自治会の“創立 50 周年記念行事”の会場として、当施設を利用されたのを始めとして、他団体も会合、イベント等で施設を使用する事が増えている事は、地域の社会資源としての認識が深まり活用されている事の“証”と考えています。

横浜事業所（R 常盤台）については、年間稼働率 入居事業・短期入所事業合わせ、94.6%で昨年度の 91.1%よりは上回っていますが、2019 年度目標であった 95%を達成することができませんでした。この要因の分析の詳細は後述いたしますが、看取りや医療的依存度の高いご利用者やご家族のニーズに応えることのマイナスの影響が表れていることが挙げられます。先を見越した積極的な取り組みのため組織的な連携が大きな課題といえます。

横浜事業所に関しては、橋本文伸会長を始めとする常盤台北部自治会の皆様、川崎事業所については、山中照三本部長を始め西塔の越自治会の皆様から、有形無形のご支援をいただきました事に感謝を申し上げます。

施設サービスの細かな分野については以降の項目で報告いたします。

2019 年度事業計画に基づいた運営等は厳しい中にも明るい兆しが見えた年度でしたが、年度末には新型コロナウイルス感染症の襲来という試練が飛び込んできました。“罹らない”“持ち込まない”“拡げない”を合言葉に法人一体として防御に努めてまいりたいと思っています。

1. 財務

(1) 入居稼働率の状況

年度当初から入居稼働率の向上を目標とし、施設長を中心に各部署が協力体制を組み、課題の解決に取り組んできた。その結果、稼働率は徐々に上昇し、今年度末には88.5%となり、年間の入居稼働率においては86.7%であった。今年度中のベッド稼働率100%に至らなかった要因としては“介護職員の確保の厳しい状況”と2020年2月頃より新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出による入所アプローチに影響したことが挙げられる。

(2) 適切な人事考課制度の運用

及び 介護職員処遇改善加算制度に伴う賃金体系の確立

育明会人事考課制度に基づき、適切な人事考課を行い、評価に応じた定期昇給と賃金のベースアップも実施することができた。

さらに介護職員については、介護職員処遇改善加算Ⅰの算定により、介護職員処遇改善交付金の一部を本俸化するとともに今年度より特定処遇改善加算を算定し、介護職員以外の職員も含めて適切に支給した。

客観性、透明性を担保した賃金体系の確立は、職員にとって働きがいのある職場環境づくりに繋がっている。

(3) 法人事業計画に基づく財務諸表の健全化

貸借対照表や収支計算書及び監事監査意見書等の公表は、事業所単位としては初めてとなるが、何人も閲覧できるようホームページで公表した。

(4) 調理業務の直営化

2020年1月より、より質の高いサービスを目指して、調理業務を業者委託方式から直営方式に転換した。それに伴い栄養係を看護係から、事務課へ組織体系を変更した。

2. 組織

(1) 組織力の強化

施設長をはじめとする管理・監督職員で構成した管理職会議及び副主任を加えた拡大管理職会議の開催や、職員会議を定例開催することにより、施設運営全般に関する情報の共有を図ることに努めた。

また、委員会活動が徐々に軌道に乗り始め、各委員会を中心とした各種サービスの検討や実施が図られたことも、組織力の強化、如いては職員の定着にも繋がっていると考えている。

(2) 人材の確保とキャリアアップ

介護人材の確保には依然として厳しい状況が続いており、求人活動のための様々な媒体の活用、派遣・紹介業者の利用等は、何れも多くを経費を擁しながらも、その効果が乏しい状況下において、職員のロコミによる人材の確保（1人が4人を紹介）が著しい効果を上げたことや、大学生や高校生の雇用も進んだことが特筆される。

そのような中でも、職員個々の能力開発やキャリア形成には力を入れ、喀痰吸引等研修や実務者研修などの各種研修への受講を支援した。また、非常勤職員の雇用のままではあるが、就労時間の延長や業務内容の拡大を望む職員が増えてきており、優秀な人材の確保という成果に繋がっている。

(3) 組織としての人材育成

組織を構成する人材を組織内で育て、次の担い手としていく好循環人材育成に努めてきた。職制以外でも、日中業務における日勤統括や夜間業務における夜勤統括、委員会の委員長など、リーダー業務を担える人材も増えている。これまでの職員育成が確実に実を結んでいることの現れである。

また、10月には川崎営業所（R百合ヶ丘）との人事異動、昇格などをスムーズに行うことができた。

(4) インターンシップ生の受入

今年度より中国からのインターンシップ生（3名）の受け入れを行っている。法人全体として受入体制を整えながら、基本的な介護技術の研修を実施し、その後OJTで引き続き介護技術の習得を目指している。その結果スキルの向上もはかれ、シフトに入るなど法人の戦力として成長している。

(5) 様々な形態での情報発信

ホームページとスタッフブログ等のインターネットを活用した情報発信や、広報誌の発行を目標にしてきたが、不定期的な発信であった。次年度は広報委員会を中心とした担当者を設け、第三者の目線でタイムリーな情報の発信に努めたい。

3. サービス

ケアサービスの向上や標準化、年中行事やクラブ活動等アクティビティの実践等については、各委員会等が企画、運営に努め、ご利用者・ご家族、さらに地域住民の方々にも、喜びや楽しみを提供することができたのは大きな成果であった。

(1) 尊厳と信頼と安全・安心なサービス提供

リスペクトケアあらゆる場面においても敬意を持って対応するをスローガンに掲げ、“尊厳”“信頼”“安全”“安心”を意識したサービスの提供に努めた。安全ベルトの装着、4本柵、エレベーター、居室の施錠等、心理的、身体的拘束を一切行わないケアが提供できた。

(2) 利用者、家族ニーズの把握と対応

利用者・家族の個別的なニーズについては、利用契約時における各種アセスメントと、入居後に行われるケアプラン会議などで利用者及び家族のニーズの把握に努め、より個別的なケアプランに反映させるよう努めた。

また、施設サービスや運営・管理などに関するニーズについては、「利用者懇談会」「家族懇談会」の開催や施設内に意見箱を設置しニーズ把握に努めた。

(3) 重度化への対応

医療依存度の高い利用者の受け入れという社会的ニーズが増える中、医療処置を継続的に必要とする利用者の受け入れを行った。

重度化への対応と介護職員のキャリアアップ及びキャリア形成を目的に、喀痰吸引等第2号研修の受講を進め、介護職員による特定行為（胃ろう又は腸ろうによる経管栄養及び喀痰吸引）資格の取得を進めている。重度化対応とは、看護と介護が連携した高度な介護サービスに対応することであり、年間を通して対応できたことは、当施設の介護力の向上に繋がったと考えている。

(4) 感染症対策

感染症・食中毒予防対策委員会を中心として、年間を通して「罹らない、持ち込まない、拡げない」を合言葉に、研修も含め標準予防策に基づいて予防に力をいれてきた結果、2018年度よりノロウイルス、インフルエンザの罹患率は0名が続いている。

2020年1月頃より、「新型コロナウイルス」が発生し、流行が拡大するに伴い、3月に緊急に研修をを行い、国の緊急事態宣言に先立ち、ご家族や業者などの立ち入り制限や職員の健康管理等、感染症予防対策の徹底をはかった。

(5) 質の高いサービスの提供と標準化

管理監督職を中心とした管理職会議において施設運営の舵を取り、サービスの水準を高く、安定させることに努めた。また、日々の申し送り等における監督者によるスーパービジョンにより、職員の気付きを促すとともに、ケアの方向性を示すことに努めた。職員個々によりサービスの質のばらつきを無くすためにも、次年度は委員会の活動をさらに展開させサービスの標準化に努めたい。

4. 人材育成

職員個々の能力開発やキャリア形成を図るための各種研修を行ってきた結果、非常勤職員の雇用のままではあるが、就労時間の延長、業務の拡大を望む職員が増えてきおり、優秀な人材の確保という成果に繋がっている。

新採用職員には、個々のスキルに合わせた教育としては、チューター制によるOJTを実施しているが、チューターを担う職員のスキルの標準化が不十分であったことから、新採用職員の定着を阻害した要因になったと思われる。

感染症及び食中毒対策など介護福祉施設の運営基準に則った研修も定期的の実施した。

意欲的に自己研鑽に励んで欲しいとの考えの下、研修参加者には参加ポイントを発行し、年間取得ポイントの多い職員を表彰、副賞を贈呈した。

<2019年度 研修開催状況>

日時	テーマ	講師	参加数	時間(分)
5月13日 5月17日	緊急時の対応・救急対応	高橋統括施設長	50名	90
5月16日 5月23日 5月30日	食事について知ろう ～基本を学ぼう～	レジデンシャル常盤台 廣瀬介護係長	31名	90

5月28日 6月5日	感染症予防研修 「施設感染症予防策と食中毒予防策」	高橋事務長	53名	90
6月10日 6月28日	自分自身をリスクとするために ～対人援助サービスにおける接遇&マナー～	高橋統括施設長	34名	90
6月26日	権利擁護研修 ～そのケア適切？不適切？ 高齢者虐待を防ぐために～	小川佳子弁護士	24名	120
7月12日 7月24日	褥瘡予防対策研修 ～廃用性症候群について知ろう～	高橋統括施設長	20名	90
7月19日 7月26日	腰痛予防研修（労働安全研修） ～腰痛は頭と尻で治す～	湘南泉病院リハビリテーション科 間野和貴科長	40名	90
7月23日 8月1日	オムツの当て方・選び方	リブドゥコーポレーション 樋口祐実氏	12名	60
8月7日 8月14日	スキルアップ研修 ～認知症を知ろう～	高橋統括施設長	16名	90
9月11日	腰痛予防研修（労働安全研修） ～実技編～	児玉陽子講師	28名	90
10月10日	褥瘡予防対策研修 ～身体にかかる圧の影響と対策～	モルテン（株） 石水達也氏	23名	60
10月28日 11月8日	感染症予防研修 ～施設感染症予防の仕組みとその実践～	高橋事務長	52名	90
11月29日 12月13日	口腔衛生研修 ～口腔ケアについて～	東山田ヒルズクリニック歯科 上笹貫さをり医師	31名	60
12月18日	肝臓との上手な付き合い方 ～放置できない脂肪肝・アルコール性肝障害～	湘南泉病院消化器内科 初谷守朗医師	33名	90
1月21日 1月22日	紙タイプ清拭の使い方 ～陰部洗浄の方法～	リブドゥコーポレーション 飯田氏	25名	60
2月12日	事故発生防止研修 事例検討会～	高橋統括施設長	39名	90
日 時	テーマ	講師	参加数	時間（分）
3月11日 3月13日 3月17日	新型コロナウイルス ～罹らない・持ち込まない・拡げない～	高橋事務長	82名	90
総合計			593名	1140分

<2019年度 外部研修参加状況>

研修名	参加者
ユニットリーダー研修	1名
痰吸引、経管栄養研修	5名
介護職員初任者研修	1名

<2019年度 研修ポイントゲッター>

順位	氏名	ポイント	順位	氏名	ポイント
1位	西山 奈智子	34	4位	長井 真希子	26
1位	高柳 みゆき	34	5位	塚越 智恵子	24
2位	米田 昭子	32	5位	石川 良子	24
2位	大金 美保	32	6位	遠藤 千恵子	22
2位	中里 蘭	32	6位	北野 里美	22
3位	谷平 佳津江	30	7位	廣瀬 千鶴	20

5. 利用者の権利擁護

(1) 成年後見制度の活用

ご利用者の権利を守ることを第一に考え、財産管理及び契約行為を代行する成年後見制度の活用を進めた。成年後見制度の活用の仕方や申し立てに関する相談にも応じ活用を促した。

(2) 預り金の適正な保管と管理

預り金管理規定に基づき、預貯金及び小口現金の適切な管理、出納を行い、本人及び家族に対し毎月書面にて報告した。また、銀行と施設間における管理規定を設け、ご利用者の預り金の管理を厳正に行った。

6. 地域との連携

昨年度の市民車座集会に続き、今年度は敬老の日のお祝として、福田川崎市長をはじめ、川崎市及び麻生区の社会福祉協議会会長や高齢担当者の表敬訪問があり、敬老祝賀の集いにも出席をいただいた。

福田市長からは「ここに到着して、まず手洗いとうがいをしました。施設として適切な感染症予防に取り組まれていると感じた。」とのお話があり、当施設の感染症予防対策を評価いただけたことは大変光栄でした。

各関係機関からの支援によりこのような機会を得られていることは、当法人が目指してきた地域との連携が図られている証であると考えている。

(1) 社会資源としての地域連携

地域の子供たちや住民が気軽に足を運べ、集える施設を目標に、1番街地域交流スペースではカフェマルシェを運営し、多くの方に利用していただいた。特に西塔之越自治会の方々には、自治会各部会の会合、自治会役員会や総会、サークル活動などで活用いただいた。ことに、西塔之越自治会の50周年記念行事において、当施設の敷地及び設備を活用していただいたことが、地域の社会資源としての証であると考えます。

昨年度に引き続き、百合ヶ丘地域包括支援センターからの要請にて、東百合丘地区の認知症カフェ（毎月第四金曜日）と健康体操教室（毎月第二火曜日）の会場として提供した。

また、認知症サポーターの啓発事業の一環として“RUN 伴あさお”への協力、MOA 美術館主催の“小学校絵画展”の麻生地区展示会場としての会場提供、そして、川崎市こどもの権利の日イベントとしての“こども祭り”への協力など、地域との連携が図れた。

<マルシェの主な利用状況>

- ・西塔之越自治会総会
- ・おやじの会
- ・塔之越自治会自主防災会議
- ・青空マルシェコロバ
- ・千寿美会
- ・西塔之越自治会役員会
- ・ラムズ自治会総会
- ・認知症カフェマルシェ

(2) キッズコーナーの利用状況

地域の子育て中のママたちが小さなお子さんを連れてカフェマルシェを利用していることや、職員の子供達が母親の仕事が終わるのをマルシェの中で待っている姿をヒントに、マルシェの一角にクッションマットを敷いて小さな子供達が安全に遊べる空間としての“キッズコーナー”を設けて以降、地域の方々や面会のご家族、職員の子供達などが利用している。

季節によっては、感染症の流行などにより利用を休止することもあり、特に今年度は新型コロナウイルスによる休校により年度末の利用は少なかった。

<キッズコーナー利用状況> 延合計370名

4月	30	8月	43	12月	34
5月	33	9月	46	1月	9
6月	36	10月	40	2月	2
7月	48	11月	47	3月	2

子供達は「レジデンシャルに行ってくる！」と言って家を出、学校から直接「ただいまー」と言って帰って来る・・・。

子供たちがマルシェに集い、遊び、宿題をしていたりする。

その様子をご利用者が愛おしそうに見つめていたり、笑顔で話しかけている光景は、まさに地域交流、世代間の交流そのものであり、マルシェの存在がそれを可能にし支えていると実感している。

(3) 施設見学の受け入れ

本入所やショートステイの利用を検討して、ご本人やご家族、担当ケアマネの見学や、特養がどのような施設なのかを知るための見学など、生活相談員を中心に64件の対応を行った。

7. リスクマネジメント

- (1) 苦情解決責任者を中心に、意見や苦情を汲み上げる体制を整えてきた。
日常的な対応 一言葉使い、態度、挨拶 等の意識や実践力が低く
リスクヘッジができていないことが課題であった1年といえる。
- (2) 事故報告書、ヒヤリハット報告書による情報の共有は図れているが、事故の分析、予防対策を講じるまでには至らなかった。次年度は委員会を中心に事故の分析を行い、事故防止に努めたい。

8. 事務管理体制

- (1) 施設設備等の管理については維持管理を専門業者に委託し、定期的な点検を実施し設備の不具合、瑕疵点検を行い、施設設備の維持管理に努めた。
- (2) 消耗品については、適切な在庫管理に努めるとともに、品目の見直しや購入価格の見直しを行い、コスト削減に努めた。

9. 諸規定の遵守及び検討

介護保険関係法令を遵守した運営を行った。また、慶弔休暇、有給等の休暇制度について、いずれも諸規定を遵守し適切な処理を行った。

10. 防災対策及び施設の保全対策

(1) 防災訓練

川崎市健康福祉局による防災無線での伝達訓練に参加し、非常災害時の情報伝達方法について確認を行った。次年度は施設での防災訓練を行い、職員の防災意識の向上に繋げたい。

(2) 防災減災研修

委託業者による防災監視盤の取り扱いについてのレクチャーを受けた。次年度は職員への周知を図るとともに、防災、減災に向けた研修を実施したい。

(3) 備蓄品の整備

災害時に使用するヘルメット、ライトや誘導灯、災害用食品の備蓄品等の整備及び点検を行った。また、台風による停電等も想定した実践的な整備にも努めた。

(4) 地域防災協定の締結

地域防災協定の締結は消防署の仲介ではなく、施設と自治会にて締結する形となるため、次年度は近隣自治会と協議の場を設け具体的に組みたい。

11. 委員会活動

委員会活動については、運営基準に則った委員会に加え、各サービス分野別の委員会を構成し活動した。委員の勤務都合が合わずに委員会の開催を見送ることもあり、全ての委員会が十分な活動とまでは言い難いが、委員会を中心にサービスを検討するという土壌は整備されてきたと感じている。

12. 行事・クラブ活動

(1) 行事実施状況

行事委員会を中心に企画運営を行い、入居者の楽しみ、そして地域との交流を目的に行事を開催した。そして、喜び、楽しみを共有し、職員間の連携力の強化に繋げることを意図して企画してきた。

- 4月1日 【お花見】
4日 西長沢第三公園と百合ヶ丘第二公園にて2日間に分けてお花見を実施し、ほぼ全員のご利用者にご参加いただいた。
- 5月2日 【シャンソンコンサート】
ご利用者のご家族の紹介により麻生区で活動されているシャンソン歌手によるコンサートを開催した。
- 5月5日 【キッズフェスタ in マルシェ】
こどもの日にちなんで、地域の子供のための祭りを開催した。子供たちを実行委員“子供店長”とし、職員は子供たちをフォローする形を取った。自治会の協力によりポスターの掲示と回覧を行い大勢の子供たちが集まり大盛況であった。
- 5月11日 【アスカーズコンサート】
コンサートの開催に至ったのは、事務長の出会いからという巡り合わせ。懐かしの歌謡曲を中心に活動している音楽バンド、アスカーズによるコンサートを開催した。
- 7月10日 【七夕コンサート】
たんぽぽの会とフレンドハーモニーの皆様によるコンサートを開催した。
- 8月3日 【サマーコンサート】
コーラスグループSOMETHINGの皆様によるコンサートを開催した。

- 8月17日 **【サマーフェスタ in マルシェ 2019】**
レジデンシャル常盤台からの全面協力と自治会や寿太鼓の協力を得て、育明会の夏の風物詩であるサマーフェスタを開催した。フラダンスショーや盆踊りはもちろん、今年は花火もスケールアップ。地域住民をはじめ、近所のグループホームにも声を掛け、利用者、家族、地域一体となって楽しんだ。
- 9月13日 **【敬老祝賀の集い】会食の部**
敬老のお祝はお寿司に決まり！たくさん召し上がられました。お寿司のソフト食も用意し、皆様にお楽しみいただきました。
- 9月16日 **【敬老祝賀の集い】式典の部**
福田川崎市長をはじめ、市区社協の会長の表敬訪問をいただき、ご長寿のお祝の式典を開催した。男女それぞれの最高齢者や米寿を迎えた方に理事長より記念品をお贈りした。また、施設より皆様に、職員手作りの衣類かごをプレゼント。担当職員からは、お一人お一人に手作りのメッセージカードをお渡しした。
- 【歌で綴る思い出の昭和】お楽しみの部**
百合ヶ丘では初開催となる、高橋統括施設長脚本演出による歌謡ショー。ご利用者の皆様がまだ若かったあの頃に流行した歌に合わせて、歌手に扮した職員が登場、会場は大きな拍手と笑い声が響いた。
- 10月18日 **【秋の大運動会】**
ご利用者が3チームに分かれて競技に参加し、総合優勝を目指して競い合った。それぞれのチームリーダーを務める職員が先導しての応援合戦も大変盛り上がった。
- 12月4日 **【クリスマスイルミネーション点灯式】“よいどころ”**
定期開催している居酒屋“よいどころ”の中で、SOMETHINGの皆様によるクリスマスコンサートとイルミネーションの点灯式を行った。イルミネーションはクリスマスまで毎夜点灯し、皆様にお楽しみいただきました。

- 12月8日 **【もちつき大会】西塔之越自治会主催**
西塔之越自治会主催のもちつき大会に協力するという形で、当施設エントランスを会場に行われた。搗き立てのお餅を、餡子餅、からみ餅にし、常盤台農園産のお新香と合わせて提供、大変喜ばれた。
- 12月20日 **【クリスマスバイキング】**
メインにはローストビーフとローストポークとローストチキンの3種類のお肉を、デザートは数種類から選べるケーキを、好きなだけお召し上がりいただくというのが育明会流のおもてなし。ご利用者からは笑顔が溢れ、とても喜んでいただけました。担当職員からはメッセージカードをお渡ししました。
- 12月21日 **【クリスマスコンサート】**
たんぼぼの会とフレンドハーモニーの皆様によるクリスマスコンサートを開催しました。
- 12月28日 **【ジブリの森のコンサート】**
職員が行っているピアノ教室の子供たちによるピアノコンサートを行った。
- 1月1日 **【元旦祝膳】**
今年のお正月は高橋統括施設長の挨拶からスタート。お屠蘇で乾杯し、お節料理をゆっくりとお楽しみいただきました。
- 1月5日 **【新年祝賀の集い】**
地域の民踊サークルの千寿美会による日本舞踊、民謡クラブの大塚先生と秀美会社中による民謡ショー、大森はやし会による獅子舞で、新年をお祝いしました。
- 2月3日 **【節分豆まき】**
襲来した6体の鬼（育明会恒例、鬼役は各部署のリーダー）を、ご利用者と家族、職員が一斉に豆を撒き、邪鬼を退治しました。鬼は退散し、百合ヶ丘に春が訪れました。
- 3月4日 **【ひな祭りコンサート】**
たんぼぼの会とフレンドハーモニーの皆様によるコンサートを開催しました。

(2) クラブ活動実施状況

音楽療法士の玉本先生による“ミュージックピアツァ”と、秀美会会主の大塚先生による“民謡クラブ”など、ボランティアの協力を得ながら、ご利用者の“楽しみ”の提供に努めた。また、地域のボランティアによる誘導の協力も得て、多くのご利用者にクラブ活動に参加していただけた。

クラブ活動内容	実施回数	延べ参加人数
ミュージックピアツァ	24回	827名
民謡クラブ	22回	759名
のど自慢大会	21回	648名
書の会	19回	216名
よいどころ	11回	361名

1 3. 援助サービス各論

(1) 介護係

○医療ケアと重度化対応について

- ・胃瘻、喀痰吸引、在宅酸素、インスリン、バルンカテーテル留置など、医療的ケアが必要とされる方々に対して、看護職員との連携、情報共有を図りながらケアサービスを提供した。
- ・褥瘡予防については看護職員と連携し、適切なポジショニングや清潔保持に向けてケアを行った。発生した場合は速やかに対策を講じ、迅速な対応を行う事で、早期の治癒、予防策の検討、実施に努めた。

○チームケア力の向上

- ・固定配置を基本にしながらも、流動的に職員が動くことによって、全体の利用者の情報を共有するとともに、共通の認識を持ってケアに当たることが可能となった。
- ・各職種、ケアエイドを含めて「ほう・れん・そう」を大切にすることを意識してきた。一つのチームとして同じ情報を全員で共有することに努めた結果、全体でご利用者のケアを考える事ができるようになってきた。

○感染症予防について

- ・虎の穴大作戦や季節感染症対策研修で身に着けた知識をもとに、吐物処理やインフルエンザ等の対策を行った。結果、今年度はインフルエンザ、ノロウイルス共に罹患者“ゼロ”であった。また、2020年1月頃発生した新型コロナウイルス感染症の対策については、標準予防策を基本とした対応策の強化を図り取り組んだ。
- ・感染症予防研修をはじめ、開設当初から、家族を含めた来所者にも、手洗いとうがいを促し、協力を呼び掛けてきたことで、現在では促さなくても自主的に手洗いとうがいをしてくださっている。この取り組みにより、感染症が予防できているとも言え、今後も継続して取り組みたい。

○職員の育成と定着

- ・年間を通し多くの入退職があり、育成に迫られた一年であった。育明会のケアの考え方の浸透、如いてはロイヤリティーの醸成に繋がればと努力を続けてきたことで、徐々にではあるが安定してきたと感じている。次年度は、法人研修やスキルアップ研修等による職員育成と、組織横断的な委員会活動を通じた連携力の強化を進め、職員の育成と定着に繋がりたい。

○組織力を発揮した支援

- ・前年度に引き続き、レジデンシャル常盤台からは各方面での応援に加え、姉妹法人である都筑シニアセンターからも応援をいただき、入居者のケアが滞ることなく、継続して提供することができた。それを支えたのは理事長の牽引力を中心とした「チーム育明会」としての組織力の強さだと感じている。組織をあげて百合ヶ丘を支えてくださっていることに感謝するとともに、その組織の一員として誇りを持って業務に勤めたい。

(2) 看護係

○医療的ケアと対応

- ・看護と介護が連携し、情報の共有、医療的な知識・技術のサポートなどを図りながら、医療依存度の高い利用者の受け入れを行った。
- ・昨年度37件であった入院件数は、今年度45件であった。原因の一つには、もともと医療依存度の高い利用者の受け入れを行っていることも挙げられると思うが、そのような利用者状況の中においても、入院までに至らせないような日々の健康管理に努めたい。

- ・高齢者に多い脱水や尿路感染を防ぐため、いつでも気軽に水分を摂ることができるよう、各番街にウォータージャグを設置した。また、嚥下状態に合わせて、水分補給用のゼリー（お茶・イオンゼリー）を用意し、水分を摂取しやすい環境を整えた。水分補給の環境整備に加えて、それを活かす日常のケアについても見直していきたい。

○医師や医療機関との連携

- ・協力医療機関であるたま日吉台病院から飛田医師（内科）を派遣いただき、毎週火曜日に診察、紫雲会横浜病院からは田村医師（精神科）を派遣いただき、月2回第1、3金曜日に診察を行った。また、看取り対応と診察体制の充実のために、月2回、都筑シニアセンタークリニックから曾田医師（内科）を招聘し、医療体制を整えた。
- ・ご利用者の状況をみながら、適宜、ご家族と主治医との面談の場を設け、ご家族の意向の確認に努めた。主治医と直接相談することで、入院検査・治療の方向付けと対応もスムーズに行うことができた。
- ・特に、協力医療機関であるたま日吉台病院へ通院・入院については、地域連携室を窓口とした病院との連携により、スムーズに対応していただけた。
- ・精神科医師の配置により、認知症をはじめとする精神症状が悪化した場合の相談や対応もスムーズに行えた。

○口腔機能の維持向上

- ・川崎市麻生区歯科医師会及び東山田ヒルズクリニックの協力を得て、適宜、歯科診療に繋げることができた。口腔機能の維持は全身状態を左右する重要な要素であるため、今後も口腔機能の維持向上及び口腔衛生に努めたい。
- ・口腔機能の維持向上、嚥下機能の改善を目的に取り組んできた口腔体操については、新入職員へのレクチャーを含めて、実施に向けて再構築する必要がある。

○看取りの対応

- ・曾田医師の招聘により、看取り介護のニーズに対応することが可能となり、2名のご利用者のお看取りに対応した。
- ・看取りに関する職員の意識向上や知識の向上を図るため、次年度は研修を開催し、看取りに関する知識や意識を高めるように努めていく。

○褥瘡対策について

- ・褥瘡予防対策委員会を中心に介護との連携を図り、定期的なスクリーニング（ブレードンスケール）による褥瘡発生リスクの観察と、それに基づいた褥瘡予防計画と治療計画を作成し、対応に努めた。

○感染症及び食中毒対策について

- ・インフルエンザやノロウイルスといった季節感染症の発症は“ゼロ”であった。また、新型コロナウイルス感染症については、3月中に臨時の職員研修会を実施した。また、職員出退勤時の検温の実施、関係者以外の入館制限などの予防対策に努めた。ご利用者を感染症から守ることができたのは、感染症予防研修をはじめ初年度から取り組んできた標準予防策を基にした感染症予防対策の成果であると考えている。

○インフルエンザワクチン予防接種

- ・11月14日と11月19日の2回に分けて、飛田医師とたま日吉台病院の協力を得て全てのご利用者に実施した。

<入院状況> (件)

	男性	女性	計		男性	女性	計
2019年4月	0	2	2	2019年10月	1	1	2
2019年5月	2	1	3	2019年11月	2	2	4
2019年6月	1	1	2	2019年12月	5	5	10
2019年7月	0	3	3	2020年1月	2	3	5
2019年8月	2	6	8	2020年2月	1	1	2
2019年9月	0	0	0	2020年3月	2	2	4
				30年度合計	18	27	45

<主な入院理由>

① 肺炎	10	⑥ 脳血管疾患	3
② 心不全	4	⑦ 骨折	6
③ 尿路感染	1	⑧ 精査目的	10
④ 脱水	4	⑨ その他	5
⑤ 蜂窩織炎	2	合計	45

<入院日数>

	2019年度	2018年度
最長入院日数	92日	66日
最短入院日数	1日	3日
平均入院日数	18.4日	23.0日

<入院先の医療機関>

たま日吉台病院（協力医療機関）	27	麻生総合病院	1
横浜新都市脳神経外科病院	5	市立多摩病院	1
新百合総合病院	5	湘南泉病院	1
聖マリアンナ医科大学病院	5	合 計	45

<退所数>

年間退所者数	17名	内 訳	
		ご逝去（内、看取り）	11名（2）
		医療機関転院	4名
		在宅	2名
		介護保険施設	0名

<医療処置・内容と人数> 2020年3月31日現在

グレード1	2名	褥創	2名
		浣腸・摘便	0名
グレード2	6名	膀胱留置カテーテル	2名
		喀痰吸引	2名
		インシュリン	2名
グレード3	5名	胃瘻	4名
		在宅酸素療法	1名
		点滴	0名

<医療指針におけるグレード>

◆グレード1

- ① 褥瘡処理
 - ② 浣腸、摘便
 - ③ 医師より1日2回のバイタルサインチェック（体温、脈拍、血圧、酸素飽和度）の指示
- ・施設内で日常的に医師の指示により看護師が実施可能な医療行為です。
 - ・利用者が入居時に必要となった場合も、利用の継続が可能です。

◆グレード2

- ① 導尿、膀胱留置カテーテル、腎ろう、膀胱ろう
 - ② 人工肛門（ストーマ）
 - ③ 喀痰吸引
 - ④ インスリン注射（血糖コントロールが良好なもの）
 - ⑤ 経鼻的持続陽圧呼吸法（NCPAP）
 - ⑥ 医師より1日3回のバイタルサインチェック（体温、脈拍、血圧、酸素飽和度）の指示
- ・施設での実施が可能な医療行為です。ただし、無条件ではなく、通常より医療依存度の高いケースでは、グレード3へ移行します。
 - ・入居後に必要となった場合も、病院での処理後に利用の継続が可能です。

◆グレード3

- ① 経管栄養療法（胃ろう）
 - ② 在宅酸素療法
 - ③ 脱水等に対する一時的点滴
 - ④ 利用中の事故による創傷に対する縫合処理（簡単なもの）
 - ⑤ 毎日の血糖測定とスライディング・スケールによるインスリン注射
 - ⑥ 血液透析
 - ⑦ 頻回な喀痰吸引
- ・高度な医療を必要とする為、施設内での実施は、その時点での看護師数や施設内での医療行為の総量等の影響を受ける為、条件付きで可能です。
 - ・利用者がこの医療行為が必要となった場合は、個々のケースで対応します。

◆グレード4

- ① 自己腹膜還流
 - ② 中心静脈栄養
 - ③ 悪性腫瘍患者への科学療法
 - ④ 気管切開
 - ⑤ 結核排菌者への治療
- ・高度な医療行為が必要なため、施設での実施は原則的に不可。
 - ・利用者が入居後、必要となった場合は適切な病院へ転院させ、この医療行為を必要とする限りは施設へ再入居することはできません。

(3) 相談支援係

施設の総合窓口として、ご利用者やご家族はもちろん、地域、各介護保険事業者、行政等からの問い合わせ等にワンストップで対応することを目的に各相談業務を行っている。施設の顔として前線に立って役割を果たした。

◎入退所業務

- ・入所、退所状況…年間入所者 27 名、年間退所者 19 名
- ・年間稼働率………ユニット型 79.0% 従来型 94.4%
- ・年間平均稼働率…86.7%
- ・退所に際しては、ご利用者の状態把握と合わせてご家族の意向を最大限尊重し、課題を一つ一つクリアしながら相談と調整を行った。

◎ケアマネジメント業務

- ・ご利用者本人とご家族を交えたケアプラン会議を実施した。
- ・施設サービス計画書の作成については、年間を通して計画的に作成及び更新を図るため、年間スケジュールを作成し取り組み始めた。
- ・モニタリングについては、より次の更新に生きるモニタリングとなるよう努めた。
- ・2020年1月～ケアプラン会議については新型コロナウイルス感染症を鑑みご家族様を交えた会議について自粛をしている。動向を確認し再開していきたい。

◎利用者ニーズの把握と情報開示（利用者懇談会の主催）

- ・2019年 7月17日（参加者 34名）
- ・2019年 12月16日（参加者 25名）

幅広くご意見を伺うために、番街職員より事前の意見聞き取りを行った。またご利用者に主体性を持って参加いただきたいという考えから、懇談会会場では7月には水ようかん、12月にはたい焼きをお供にお茶の提供を行い、和やかな雰囲気で開催いただける環境とした。

◎家族のニーズ把握と情報開示（家族懇談会の主催）

2019年4月27日（37家族 50名参加）

テーマ・入居者状況の説明

- ・職員体制について
- ・質疑応答

2019年10月20日（34家族44名参加）

テーマ・経過報告

- ・介護保険制度改正について
- ・質疑応答

◎介護保険関係申請代行業務

- ・要介護認定や各種介護保険関係の申請代行、各種手続きの補助を行った。介護保険、医療の各種認定証はそれぞれ更新申請時期が異なるため、有効期限を把握し、必要な手続きが速やかに行われるよう努めた。

◎その他

- ・よいどころやカフェマルシェ、クラブ活動、年間行事に対応した。

<利用者状況>

（2020年3月31日現在）

①年齢

最高年齢	102	男性	89
		女性	102

最低年齢	62	男性	62
		女性	62

平均年齢	87.47	男性	80.79
		女性	88.69

②要介護度

平均要介護度	4.2	男性	4.35
		女性	4.1

<2019年度 入所・退所状況> 上段：ユニット型 下段：従来型

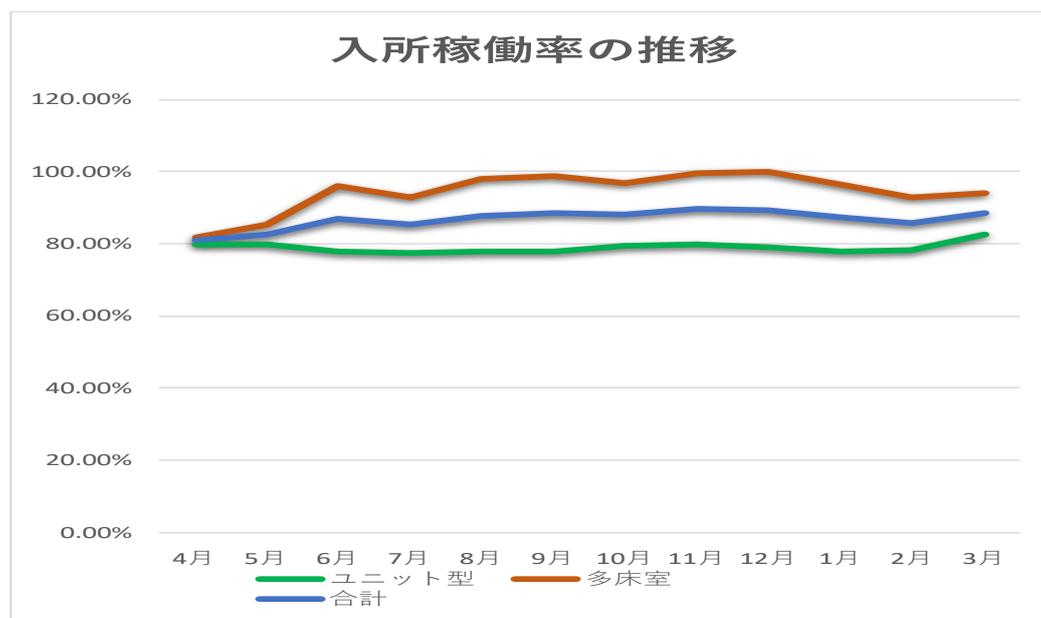
	入所			退所		
	男性	女性	計	男性	女性	計
4月	0	0	0	0	0	0
	1	2	3	1	2	3
5月	0	0	0	0	1	1
	1	3	4	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0
	0	3	3	0	1	1
7月	0	0	0	0	1	1
	1	1	2	1	0	1
8月	0	0	0	0	0	0
	2	0	2	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	1	1
10月	1	1	2	0	0	0
	0	2	2	0	1	1
11月	0	0	0	0	0	0
	0	1	1	0	0	0
12月	0	1	1	2	0	2
	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	3	0	3
2月	1	1	2	0	1	1
	1	0	1	0	1	1
3月	0	3	3	0	0	0
	0	1	1	1	0	1
合計	2	6	8	2	3	6
	6	13	19	6	6	13
総合計	8	19	27	8	9	17

- ・入所者数 27名（男性：8名 女性：19名）
- ・退所者数 19名（男性：9名 女性：10名）うち、お看取りは2名

14. 短期入所生活介護サービス

地域のニーズもあり、6月よりショートステイ事業を開始し、今年度は21名の方にご利用頂いた。但し職員等配置の関係もあり、ユニット型個室空床を使用頂く等の対応となった。この為、稼働率は4.9%の稼働率となっている。来年度は安定した稼働率となるように、リピーター利用含め受け入れ体制の構築を図っていききたい。

レジデンシャル百合ヶ丘 稼働率			
集計期間：2019年3月～2020年3月			
月	ユニット型	従来型	計
4月	80.00%	81.80%	80.90%
5月	79.90%	85.50%	82.70%
6月	78.00%	95.90%	86.95%
7月	77.60%	92.90%	85.25%
8月	78.00%	98.00%	87.70%
9月	78.00%	99.00%	88.50%
10月	79.40%	96.90%	88.15%
11月	80.00%	99.80%	89.90%
12月	79.00%	100.00%	89.50%
1月	78.00%	96.50%	87.25%
2月	78.10%	92.70%	85.75%
3月	82.70%	94.20%	88.45%



15. 2019年度活動一覧 (2019.4.1～2020.3.31)

事業月日		内 容	分類					備 考
			行事等	研修	見学 取材	人事	その他	
月	日							
4	1	辞令交付				○		新入職・昇格
	1	お花見	○					
	13	キッズフェスタこども店長会議	○					
	14	塔の越自治会総会					○	参加者 40名
	19	塔の越自治防災会議					○	参加者 8名
	20	ラムズ自治会総会					○	参加者 30名
	23	レジデンシャル百合ヶ丘開設記念日					○	
	23	職員健康診断	○					受診者69名(たま日吉台病院)
	30	塔の越自治会おやじの会					○	参加者 14名
5	2	シャンソンコンサート	○					
	5	キッズフェスタinマルシェ2019	○					参加者 約120名
	11	歌謡ショー	○					
	13.17	研修 緊急時の対応～救急対応について～		○				参加者 50名 講師:高橋施設長
	16.23 30	研修 食事について知ろう～基本を学ぼう～		○				参加者 31名 講師:廣瀬係長
	20	入居者健康診断					○	
	28 6/5	食中毒・感染症予防研修		○				参加者 53名 講師:高橋事務長
	23	理事会					○	レジデンシャル常盤台にて
6	10.28	研修 自分自身をリスペクトするために		○				参加者 34名 講師:高橋施設長
	13	塔の越自治防災会議					○	参加者 13名
	17	フラ&うた 桜の会ショー	○					
	22	サマーバーゲンinマルシェ2019	○					参加者 30名

事業月日		内容	分類					備考
			行事等	研修	見学 取材	人事	その他	
月	日							
6	25	塔の越自治会おやじの会					○	参加者 15名
	26	権利擁護研修 高齢者虐待を防ぐ為に		○				参加者 24名 講師:小川弁護士
7	2	神奈川高齢者福祉研究会					○	
	10	七夕コンサート	○					
	12.24	スキルアップ研修 廃用性症候群について知ろう		○				参加者 20名 講師:高橋施設長
	17	衆議院議員選挙不在者投票					○	
	17	利用者懇談会					○	
	17	西塔の越自治会役員会					○	参加者 9名
	19.26	腰痛予防研修		○				参加者 40名 講師:湘南泉病院リハビリ科 間野医師
	23 8/1	スキルアップ研修 おむつの当て方		○				参加者 13名 講師:リブドゥコーポレーション 樋口氏
	24.26	インターンシップ受入れ(川崎高校)					○	
	26	オレンジカフェ茶道会	○					
	30	塔の越自治会おやじの会					○	参加者 30名
	31	塔の越自治防災会議					○	参加者 10名
8	3	サムシングサマ-コンサート	○					
	3	西塔の越自治会こどもアニメ上映会	○					参加者 50名
	7.14	スキルアップ研修 認知症を知ろう		○				参加者 15名 講師:高橋施設長
	17	サマーフェスタinマルシェ	○					参加者 約300名
9	1	西塔の越自治会役員会					○	参加者 25名
	11	腰痛予防研修 実技編ボディメカニクス		○				参加者 28名 講師:児玉先生
	13	敬老祝膳(寿司バイキング)	○					
	15	西塔の越自治会敬老食事会					○	参加者 23名
	16	川崎市長来訪			○			

事業月日		内容	分類					備考
			行事等	研修	見学 取材	人事	その他	
月	日							
9	16	敬老祝賀の集い	○					
	22	お彼岸おはぎ作り					○	
	24	塔の越自治会おやじの会					○ 参加者 12名	
10	6	西塔の越自治会50周年イベント					○ 参加者 150名	
	10	褥瘡予防研修 身体にかかる圧の影響と対策		○			参加者 23名 講師: (株)モルテン 石水氏	
	11	JICE施設見学会			○			
	18	大運動会	○					
	20	ご家族懇談会					○ 34家族44名ご参加	
	28 11/8	感染症予防研修 施設感染症予防の仕組みとその実践		○			参加者 52名 講師: 高橋事務長	
11	1	塔の越自治防災会議					○ 参加者 10名	
	2~9	川崎市児童作品展					○	
	10	西塔の越自治会役員会					○ 参加者 25名	
	24	勤労感謝の会					○	
	26	塔の越自治会おやじの会					○ 参加者 15名	
	29 12/13	口腔衛生研修 口腔ケアについて		○			参加者 31名 講師: 上笹眞医師	
	30	川崎こどもの権利の日イベント					○ 参加者 120名	
12	4	よいどころ/somethingコンサート	○					
	4	ふれあいケア取材			○			
	8	西塔の越自治会餅つき大会					○	
	13	研修/口腔衛生について		○				
	14	クリスマスバーゲンinマルシェ	○					
	16	利用者懇談会					○	
	18	労働安全研修 肝臓との上手な付き合い方		○			参加者 33名 講師: 湘南泉病院消化器内科 初谷医師	

事業月日		内 容	分類					備 考
			行事等	研修	見学 取材	人事	その他	
月	日							
12	20	クリスマスバイキング					○	
	21	クリスマスコンサート たんぼぼの会とフレンドリーハーモニー	○					
	24	塔の越自治会おやじの会					○	参加者 12名
	28	ジブリの森コンサート	○					
	29	仕事納め会					○	
1	1	元旦祝膳	○					おせち・お雑煮
	5	新年祝賀の集い	○					大森囃子会・民謡 大塚先生
	10	塔の越自治防災会議					○	参加者 10名
	21	排泄介助研修 紙タイプ清拭の仕組み		○				参加者 25名 講師:リブドゥコーポレーション 飯田氏
2	3	節分豆まき	○					役職者は鬼・福は内
	12	事故発生防止事例検討研修		○				参加者 35名 講師:高橋施設長
	26	塔の越自治防災会議					○	参加者 10名
	28	車椅子利用者体験研修		○				参加者 10名
3	11.13.17	新型コロナウイルス感染予防対策研修		○				参加者 82名 講師:高橋事務長
	18	防災無線情報伝達訓練					○	
	20	おはぎ作り					○	

16. 各部署・委員会等からの活動報告

名 称	活動内容	開催月	開催日	時間	構成委員(◎:委員長、○:副委員長)							SV
					◎鈴木副主任	先崎	○大金副主任	板垣	田代NS			
1 権利擁護委員会	身体拘束防止、人権侵害についての検証・改善への取組。	毎月	第一月	16:30～	◎鈴木副主任		○大金副主任	板垣	田代NS			施設長
2 事故発生防止委員会	事故についての検証、再発防止策の検討協議。	毎月	第一金	16:30～	◎鈴木副主任	藤田	○佐々木	大城NS				佐藤係長
3 感染症・食中毒予防対策委員会	感染症及び食中毒に対する意識を高めるための研修企画、実施、対応策を協議。	毎月	第二水	16:30～	林栄養士	菅井	◎山崎副主任	館前	笹氣	山崎俊	小曾橋副主任	事務長
4 褥瘡発生予防対策委員会	個々の症例に応じた予防、対応策を検討。意識を高めるための研修企画、実施。	毎月	第三月	16:30～	◎石間副主任	山崎副主任	林栄養士	○大金副主任	西山	リネン1名	○大矢NS	山崎係長
5 苦情対応委員会	苦情や要望への速やかな対応と、改善のための取組。	奇数月	第四水	16:30～	鈴木副主任	館前	信田	外池	佐藤係長	石川	田代NS	施設長
6 広報委員会	広報誌の発行計画を立て、原稿・写真・資料の収集・整理、調査、編集を行う。	毎月	第三金	15:30～	鈴木主任	外池	石附	山中	廣野	諏江	大城NS	施設長
7 行事委員会	季節感溢れ楽しめる行事を計画、実施する。	毎月	第二月	16:30～	中里	◎大西	大城(CW)	林栄養士	外池	山中	米田エドモト	施設長
8 研修委員会	専門知識及び技術向上を目指した各種研修の企画、実施。	毎月	第三水	16:30～	鈴木主任	板垣	◎西山	石川	米田(昭)	○大橋	田代NS	佐藤係長
9 労働安全衛生委員会		奇数月	第四月	18:00～	事務長	佐藤係長	山崎係長	山崎副主任				施設長
10 栄養食事ケア検討委員会	食事に関するケア及び質の向上を図る為の取組を行う。	毎月	第一水	16:30～	藤本 エリカ	中里	菅井	林栄養士	◎山崎副主任	米田エドモト	小曾橋副主任	山崎係長、施設長
11 入浴ケア検討委員会	入浴に関するケア及び質の向上を図る為の取組を行う。	毎月	第二金	16:30～	信田副主任	西山	佐々木	◎高山	大城NS	○高山		佐藤係長、施設長
12 排泄ケア検討委員会	排泄に関するケア及び質の向上を図る為の取組を行う。	毎月	第四金	16:30～	石間副主任	先崎	石附	○山崎副主任				◎山崎係長、施設長
13 民謡クラブ	養老会の大塚先生による民謡教室	毎月	第二水 第四月	14:00～	外池	山中	大金副主任	西山				外池
14 ミュージックピクニック	玉本先生による音楽療法	毎月	第二火 第四火	13:45～	山中	廣野	大橋	外池				外池
15 マルシェのど自慢	カラオケのど自慢大会	毎月	第一水 第三水	14:00～	山中	大橋	外池	浦山				外池
16 よいどころマルシェ	居酒屋	毎月	不定期	16:00～	外池	大西	諏江	米田	大金副主任	◎高橋リナー1名		施設長
17 書の会	諏江先生による書道教室	毎月	第一月 第三月 第五月	14:00～	外池	大金副主任	佐藤係長	浦山				佐藤係長
18 Studio アスレ	専任講師によるヨガ教室	毎月	第二金 第四水	14:00～	大金	樫木	浦山					浦山
19 エイト会議	ケアエイトが出席する全体会議	3ヶ月に1回	第三月	10:00～								
20 拡大管理職会議	副主任以上が出席する会議	毎月	第三月	18:00～								
21 管理職会議	主任以上が出席する運営会議	毎月	第一月	18:00～								
地域開放 認知症カフェ		毎月	第四金	13:30～								
地域開放 青空マルシェコロバ		毎月	第二火	10:00～								
千寿美会		毎月	第二月	10:00～								
ローソン移動販売		毎月	第一水 第三水	13:30～								

事業報告書

委員会名称	権利擁護委員会		
報告書作成日	2020年4月12日	委員長	鈴木秀雄
構成委員 スーパーバイザー	鈴木秀雄、大金美保、先崎希実、 高橋統括施設長		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の身体拘束、虐待など権利の侵害行為をなくして、安心、安全、安楽な生活をいただくようにする。 ・ご利用者様へのリスペクトケアに基づく介護の実践。 <p><活動日></p> <p>毎月の第一月曜日。</p> <p><実施内容及び結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1四半期（4月～6月） <ul style="list-style-type: none"> 6月26日 神奈川弁護士会、小川佳子弁護士様による公開講座を開催 テーマ：そのケア適切？不適切？ 当日は、全職員参加必須とのことで多数の職員に参加していただいた。 後日参加した職員より研修レポートを提出していただいた。 ・第2四半期（7月～9月） <ul style="list-style-type: none"> 権利擁護の標語、「より良い言葉とマナー」をテーマとした標語を募集。 施設内全職員、ご利用者様とご家族から多くの標語の応募をいただき、 全作品を1番街の廊下に掲示。その中から投票により最優秀賞を選出。 施設長賞、事務長賞、権利擁護委員会賞をそれぞれ選出していただき、 受賞者と受賞作品を発表、掲示をした。 受賞者には9月の職員会議にて賞品を授与する。 ・第3四半期（10月～12月） <ul style="list-style-type: none"> 車椅子体験研修の計画、企画の立案。 ・第4四半期（1月～3月） <ul style="list-style-type: none"> 車椅子体験研修の実行 ケアエイド、相談事務係、介護職員より選出した職員により、1時間45分の 車椅子体験と15分間のアンケートの記入による振り返りの時間を設けておこなった。 後日参加職員により研修レポート用紙に感想文を提出して頂いた。 			

<次年度に向けて>

- 1、委員会の定期開催と全員参加をおこなえるようにする。
委員会のメンバーが全員集まれることが少ないため、委員会職員は権利擁護委員会の重要性を自覚して開催日に参加できるように事前にシフト調整を申し出て全員参加で定期開催ができるようにする。
- 2、権利擁護公開講座、車椅子体験など開催して職員からレポートを提出していただいたが、その内容を振り返ることなく終わってしまったため、今後は、提出してもらったアンケートやレポートを基に課題を分析して発表できるようにしていく。
- 3、権利擁護の標語については、受賞者と受賞作品を掲示ポスターによる発表で終わってしまったため、発表方法を今後は施設全体に標語が浸透出来るように工夫する。

以上

事業報告書

委員会名称	事故発生防止委員会		
報告書作成日	2020年4月1日	委員長	大金 美保
構成委員 スーパーバイザー	鈴木秀和主任、鈴木貴之主任、藤田 CW、佐々木 CW、大城 NS、大金 CM 佐藤係長		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>毎月第一金曜日に委員会メンバーで会議を行い、事故やヒヤリハットの報告書の内容や件数の把握を行い、事故の発生件数が減るように協議検討を行う。事故報告書の内容等を職員に共有していただく。</p> <p><活動日></p> <p>毎月第一金曜日</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>① 研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年5月に3回の曜日を設け、高橋施設長に緊急時の対応、救急対応について講義をしていただいた。 ・2020年2月に事故発生防止事例検討研修を高橋施設長に講師を依頼し実施した。 <p>② 事故発生件数の集計及び確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月起きた事故発生及びヒヤリハットの報告書を番街ごとに集計。事故内容や件数の確認を行った。 <p>③ 事故報告書の職員への情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故報告書提出され佐藤係長迄回覧が回った際にコピーしていただき、番街ごとに各委員が回覧用の下駄版シートを添付し、各職員が確認した際に押印していただき、確認できていない職員には委員より確認していただくように声掛け促しを行った。 <p>④ グラフ等の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状態別事故傾向チェックシートを作成し毎月各委員に記入してもらい、番街ごとと全番街でのグラフ作成をしていく予定でしたがフォーマットの作成は出来ましたが委員の人数が減った等で毎月の報告が確実にできず、グラフが完成できない月もあった。 <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑に委員会が開催できるようし、確実に委員会を開催し、欠席者には会議の内容等が確実に報告できるようなシステム作りを行っていく。 ・事故報告書の職員への状況共有の周知徹底に努める。 ・研修委員会と連携を行い、今年度同様研修を行いリスクマネジメントに努める。 ・グラフ作成を確実にし職員へ報告が出来るように努める。 			

事業報告書

委員会名称	感染症食中毒予防対策委員		
報告書作成日	2020年4月10日	委員長	山崎 なみき
構成委員 スーパーバイザー	菅井 CW 笹気キッチンエイド 山崎クリーンエイド 木村管理栄養士 高橋事務長		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>施設内感染症（インフルエンザ・ノロウイルス等）予防 職員への感染症知識及び感染予防方法の周知</p> <p><活動日></p> <p>第2水曜日/月 16:30～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>① 感染症に関する研修の実施（2回/年）</p> <p>感染症における研修を、高橋事務長講師にて実施。1回目を5月28日・6月5日の2日間。尿路感染症、真菌、食中毒などに関して講義を行った。2回目を10月28日・11月8日の2日間。季節感染症である、インフルエンザ・ノロウイルスの講義及び手洗い、標準予防策及び嘔吐処理に関する実技を行った。</p> <p>職員の参加しやすいようにどちらの研修も2回ずつ行ったそのためかどちらの研修も多く参加して頂いた。</p> <p>しかし、2回目の研修参加できなかった職員については、体験することを目的とし日程調整を行い看護師中心のもと、標準予防策、嘔吐処理の実習を行った。実施した職員は、介護士のみならず事務職員、エイド職員へも実施し体験をしていただいた。</p> <p>ほか、コロナウイルスに関する正しい知識と予防方法につき、日にちと時間を変えて計3回実施した。いま最大の関心事であるためかお知らせ期間が短かったが、たくさんの職員の参加がみられた。</p> <p>外部研修として町内会の方々に同一内容の研修を企画したが、新型コロナウイルス感染の拡大により中止となった。</p> <p>② 感染症によるユニット閉鎖時のまとめ</p> <p>幸いにも、インフルエンザなどの感染症発生には至っていないが、同ユニット内に発熱者が続くことがみられることがあり早急にユニット閉鎖を行うことがあった。</p> <p>しかし、手順やマニュアルがなかったため委員会内で話し合い手順を確認。今後、同様な状況がみられた際にはすぐに確認できるよう整備を行う。</p>			

③ 感染症マニュアルの作成

施設内には、当初よりリソースブックにてマニュアルはあったが、介護職、看護職だけでなくエイド職員も確認することから高橋事務長中心にわかりやすい言葉で説明解説したマニュアルを目指し作成。今後、委員会内にて読み込みを行い更なる改良及び手に取ってもらえるマニュアル作成を目指したい。

④ 季節感染症の感染予防

冬季に入るとインフルエンザやノロウイルスなどの感染に対し注意が必要となってくる。入居者への予防接種をたま日吉台病院 飛田医師に、施設職員への予防接種を東山田ヒルズクリニック 曾田医師の協力により予防接種を実施した。また、発生時に対応できるよう検査キット、内服薬の用意を行った。ノロウイルスに関しては、嘔吐処理キットの設置場所の統一。体験実習時に場所の確認を一緒に行った。

<次年度に向けて>

幸いにも、インフルエンザやノロウイルスの発生なく今年度を終了できたが、新たな感染症として、新型コロナウイルスが巷で猛威を振るっている。職員の感染防止、体調管理を行いながら、施設内に持ち込まないよう更なる注意喚起を行っていききたい

① 感染症研修内容の充実を図る

② 感染症マニュアルの内容の検討、職員への周知

③ 季節感染症及び新型感染症に関する情報提供、感染予防の徹底等に力を入れていきたいと思う。

最後に、研修開催時、高橋事務長、研修委員会他たくさんの協力で行なえたことに感謝を伝えたい。

以上

事業報告書

委員会名称	褥瘡発生予防対策委員		
報告書作成日	2020年4月3日	委員長	石間 雄人
構成委員 スーパーバイザー	山崎看護副主任、大金副主任、大矢 NS、西山 CW、石間 高橋統括施設長、山崎係長		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>褥瘡発生の予防または発生時において適切なケアサービスを提供するために多職種で委員を構成し、現状の問題点や改善点などを検討、協議することにより、早期発見、早期治療に努めることを目的とする。今年度は3か月毎（3月、6月、9月、12月）に行われるブレイデンスケールでの評価を基に①研修の実施、②治療計画書の取り組み、③栄養面から考えることについての検討、協議が課題であった。</p> <p><活動日></p> <p>毎月第三月曜日 16時30分～</p> <p><実施内容と結果></p> <p>①研修の実施</p> <p>前期には7月12日と24日にスキルアップ研修（高橋施設長講師）の一環で廃用性症候群の一部である褥瘡についての基礎知識を学び、後期には10月10日にモルテンさん講師の下、褥瘡発生のメカニズムや予防策である体圧分散について学ぶための研修を実施。前期では「褥瘡とは何か？」という事を全職員に周知させることを目的に研修を行い、後期ではメカニズムや体圧分散について知ることにより褥瘡発生のリスクや褥瘡にならないための良肢位でのポジショニングの必要性を学ぶ研修を開催した。二回の研修では介護職員のほか看護師や事務係、エイド職員など多数の方が参加され、褥瘡について興味を持ってもらえたのではないかと感じ、今後定期的に研修を行っていきたいと考える。</p> <p>②治療計画書の取り組み</p> <p>3か月ごとに行われているブレイデンスケールの評価では点数（数字）で褥瘡の予防または治療が必要か否かを判断しているが、14点以下のご利用者様に対して介護面、看護面、栄養面からどうすればよいのかを具体的に考え、実践するために今年度の委員会ではブレイデンスケールと並行して治療計画作成の準備を行ってきた。今年度では実践までには至らなかったがフォーマットの作成、ブレイデンスケールの評価から治療計画書の作成、実施までの大筋の流れは話し合うことが出来た。来期では職員への周知、実施を目指し統一したケアをすることにより褥瘡の予防、早期治癒ができる環境作りを行っていきたいと考える。</p>			

③栄養面から考える

褥瘡形成の大きな要因になっている低栄養について、栄養の偏りや服用の薬剤により亜鉛欠乏症を来すご利用者、食事を摂れずまた摂っていても MBI 値や ALB 値の低いご利用者には亜鉛やコラーゲンペプチドの摂取が有効な為、特に亜鉛は褥瘡を始めとする皮膚トラブルに効果があることから効率よく摂取するためにはどうしたらよいのかを協議した。一日当たりの有効的な摂取量や補助食品の亜鉛含有量を踏まえたうえで、食事時では汁物などに亜鉛パウダーを入れる、おやつ時には亜鉛が強化されたおやつや飲み物を定期的に提供してはどうかと協議したが、実施までには至っていないため、来期では実現に向けての取り組みを行っていききたい。

<次年度に向けて>

- ・ブレイデンスケール、治療計画書の作成を期日内までにスムーズに行えるような仕組み作り、また作成に当たり記入ポイントや注意点などを洗い出し、連絡ファイルや会議で通知するなど行い職員へアプローチしていきたい。
- ・スネーククッションの活用に伴い、適切な使用方法については一度研修を行えたと思う。また汚染時の取り扱いについてはマニュアル化して職員への周知を図り統一することにより不手際による時間のロスや機会ロスを減らしていきたい。
- ・今年度の委員会は施設行事や職員のスケジュールの都合により未実施のことが多かった。そのため進展がなくあらゆることが先送りになってしまったことが反省点として挙げられる。来年度では短い時間、少ない人数でも曜日を変更するなどの対応で可能な限り実施という形に繋げていきたい。

以上。

事業報告書

委員会名称	苦情対応委員会		
報告書作成日	2020年4月5日	委員長	佐藤 直明
構成委員 スーパーバイザー	佐藤直、外池、館前、平山、田代、鈴木秀 高橋統括施設長		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>委員会の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族、地域住民からの苦情や要望などの速やかな対応に努める <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び家族からの意見や苦情を施設全体で共有し改善する。 ・普段の関りや会話の中に潜在する意見や苦情を掴み取る。 ・意見や苦情を施設全体で共有できる仕組みを構築する。 ・利用者や家族が意見や苦情を表明しやすい環境を整える。 <p><活動日></p> <p>奇数月の第四水曜日 16:30～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>委員会実施状況 全4回</p> <p>5月22日・7月24日・9月25日・11月27日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会がキャッチした意見や苦情については、苦情受付担当者を通し苦情解決責任者へ報告、必要な処置、対応を行った。また、意見や苦情の内容に応じて該当する部署の担当者（責任者）へ申し入れ、改善が図られるように努めた。 <p>意見及び苦情の内容と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随時各番街にある意見箱等確認をしているが、意見箱からのご意見はなかった。 ・ご利用者の皆様との懇談会・ご家族の皆様との懇談会での意見内容について委員会内での報告、協議を行った。 <p>◆ご利用者の皆様との懇談会より</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 職員の名前を覚えてたい。職員の名札が見えにくい位置に付いているので、見える位置に付けて欲しい</p> <p>→（回答）職員が介助等に入る時に、名前を名乗るように指導すると共に、名札が見える位置に付けるように指導する。（各部署リーダーを通して周知。）</p> </div>			

② 味噌汁がぬるい時がある。

→ (回答) 基本的に温かい物は温かく、冷たい物は冷たく適温適度にて提供させていただく様に指導する。(介護係長・エイド統括へ改善する様に指導。)

③ 手足が動させる様な体操をして欲しい。

→ (回答) 特養ホームは生活の場となるので、生活の中で身体を動かすように依頼をしている。常盤台でのラジオ体操について説明し、ポイントカード制を導入している。百合ヶ丘でも導入を行う事伝え開始している。

④ 月初めに掲示している予定表にイベント等記載されているが、延期になる事もあり、変更や中止になる時は掲示してもらいたい。

→ (回答) 延期や変更・中止になる時はお知らせを掲示させて頂く事となる。

◆ご家族の皆様との懇談会より

① 面会時、外気浴を行う為に屋上へ行く事があるが、椅子などが無いので、ゆっくりと座って…という事ができない。椅子など設置をしてもらえるとありがたい。

→ (回答) 風等の関係で据え置き椅子などの設置は難しいが、折り畳み式の椅子の設置は行えるので、検討を行う。(折り畳み椅子、持ち運びできるガーデンテーブルを設置し、ポスターにて周知を行った。)

② 夏季に行った衣類の販売会について冬物の販売も行って欲しい。

→ (回答) 企画を行う事回答する。(12月14日に開催している。)

<次年度に向けて>

- ・委員会についても後半は開催が行えていない事もあった為、確実な開催と意見交換を行っていく。
- ・今年度は意見箱の意見が全く投函されていない事あり。この為次年度は意見箱の活用や皆様への周知をどのようにしていくか検討を行う。
- ・意見等頂いた事について継続して行えているか等も含め、確認をどのようにしていくかも検討していかなくてはならない。
- ・法人の第三者委員会について利用者及び家族にあらためて説明するとともに、第三者委員会開催の際は当委員会からも代表者が出席することとしたい。
- ・意見や苦情の内容によっては、当該委員会だけでは解決できないことも多いため、他の委員会との協働、各部署リーダーへの報告手順など、解決に向けた道筋を構築したい。

以上

事業報告書

委員会名称	広報委員会		
報告書作成日	2020年4月10日	委員長	外池 永尚
構成委員 スーパーバイザー	鈴木貴之、石附彩、山中辰、廣野園子、諏江信雄、大城栄津子、外池永尚 高橋統括施設長		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を通して、利用者や家族、地域の方々に施設の取り組みをPRするとともに、情報発信のツールとして活用する。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設としての広報活動方法（情報の開示方法）を確立する。 ・ホームページ（スタッフブログ）の有効活用と更新。 ・広報誌（百合ヶ丘便り）の発行 <p><活動日></p> <p>毎月第三木曜日 15：30～</p> <p><実施内容及び結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ及びスタッフブログ、百合ヶ丘便りの更新と発行は、目標としていた定期更新（発行）には至らず、年間で数回の更新（発行）に止まった。 <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブログ、百合ヶ丘便り共に計画的な更新や発行をする。そのための仕組みを構築する。 ・施設の広報活動の目的、狙いを理解し、年間計画を立案して取り組んでいく。 ・百合ヶ丘便りの紙ベースでの発行やご家族への配布を検討し実施する。 ・ブログと百合ヶ丘便りの取り扱いを分ける。 ・委員や職員を巻き込んで取り組んでいく。 <p style="text-align: right;">以上</p>			

キッズフェスタ in マルシェ2019

5月5日にキッズフェスタが開催されました!今回も大盛況となったキッズフェスタ!!
サプライズゲストとしてクラウンヒロによるパフォーマンスもありキッズ達も大喜び!



今年の子供店長は3名!赤青黄のハッピを身にまとい開会の挨拶!
少し緊張をしながらも挨拶をしてクラウンヒロも登場!
キッズフェスタの開催です!



クラウンヒロによるオープニングパフォーマンスで場はいきなり大盛り上がり
子供店長達も参加!ご利用者様も参加!みんなでオープニングを飾りました。



ゲームコーナーも大盛況だったよ♪みんな白熱して夢中になって
高得点を叩き出そうと何回も遊んでたね♪いい景品はGETできたかな?



おいしい食べ物もたくさん!!ご利用者様も大満足のキッズフェスタでした!



春のシャンソンのコンサート 開催

ご利用者のご家族様からのご紹介で5月2日に開催されました！



赤と黄色のドレスを身にまといご利用者と
触れ合いながら美しい歌声を披露！！



ご利用者様もシャンソンの
世界に引き込まれます



歌を披露して下さった
お二方にご利用者様から
お礼のお言葉が！



最後にはご利用者様から
お二方へ花束が贈られました！



ステキなシャンソンのコンサートは
大盛り上がりで幕を閉じました



アリアさん 東えりさん

歌謡コンサートinマルシェ

出演バンド「アスカーズ」

～アスカーズとの馴れ初め～

出会いはなんと当施設の高橋事務長!!
タクシーに乗った際に運転手の方と
意気投合しその運転手さんがアスカーズの
一員だったとの事。さらにアスカーズは施設を
回って活動をしているらしく事務長が
うちの施設も来てくれないかとお誘いをして
今回のコンサートが開催される事となりました。

歌と楽器のハーモニーを
奏でながらご利用者様も
知っている名曲と
アスカーズオリジナル曲を
歌い皆様も一緒になって
歌いました





アスカーズの皆様
ありがとうございました！

ご家族の皆様との懇談会

4月27日にご家族懇談会を行いました。34家族44名様にご出席いただきました。
皆様から色々な質問や改善点をいただき、今後の施設運営に活かして参ります。



佐原理事長の挨拶から
懇談会が始まりました！



ご家族の方々からも
たくさん意見を頂きました！



トロミを加えた飲み物を実際に
ご家族も試飲しました。

レジデンシャル百合ヶ丘 広報委員会

百合ヶ丘便り

発行日 2019年 8月16日

発行所 レジデンシャル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市麻生区東百合丘1-12-35 <http://www.ikumeikai.net/yurigaoka/>

ファッションセンターマルシェ 開店!!



日本橋の間屋“宮入”さんにご協力をいただき、衣料品の“サマーバーゲン”を開催しました。カフェマルシェがバーゲン会場に早変わり！

準備も整い・・・
さあ、いよいよ開店です！
「いらっしゃいませ！！」

こちらは
どうですか？



それも
いいわね～



この服も
欲しいわね



ねえ、ちょっと
おまけてくれない？

一杯になった袋をもって、いざレジへ。そこで一言「ねえ、おまけてくれない？」たじろぐ店員・・・ご利用者のしっかりした一面も垣間見えました。(笑)

「自分で買い物をするのも久しぶり」と、選ぶ楽しさを満喫されていました。職員「こちらは如何ですか？」ご利用者「ちょっと派手だからねえ～」そんなやり取りも聞こえてきました。

お付き添いにご協力いただいたご家族の皆様、株式会社宮入の皆様、ありがとうございました！



次は冬のバーゲンで!!

フラダンスショー開催



去る6月17日(日)、14:00～地域で活動されているフラダンスサークル“桜の会”の皆様によります、フラダンス&唄のショーが開かれました！ご利用者様も桜の会の皆様に誘われて思わず唄い踊り出しみんなで一つになって楽しみました！！



桜の会の先生も優雅に踊ってます
さあみなさん一緒に！



ご利用者様と桜の会とのコラボレーション!!



最後はご利用者様から桜の会の皆様へ花束贈呈!!



桜の会の皆様
ありがとうございました!!

公開講座

そのケア適切？不適切？



6月26日

権利擁護委員会が主催しての公開講座を高齢者の権利擁護についてご講演やご執筆をされている弁護士の小川佳子先生をお招きし開催いたしました。

テーマは「そのケア適切？不適切？」

小川先生のご講演の後には、7月2日のかながわ高齢者福祉研究大会で研究発表にエントリーしている、姉妹施設のレジデンシャル常盤台の権利擁護委員会によるプレゼンテーションを行いました。権利擁護の取り組みは、ご利用者の皆様の“その人らしさ”を護ること！改めて考える良い機会となりました。



チーム百合ヶ丘の職員紹介～看護師編～

ピンクのエプロンが皆様の健康をお護り致します。

山崎みきみ 副主任



「爪きり頑張ります！」

大矢美奈子



「入職して半年轻ちました 宜しくお願いします。」

大城榮津子



「元気いっぱい！」

小野修希



「頑張っています！」

田代さとみ



「頑張ります～す★」

榎本治美



「心を込めた看護を提供させて頂きます。」

鈴木江理子



「お世話になってます。宜しくお願いします。」

廣野園子(クラーク) 木村綾那(管理栄養士)



「ビール大好きです！」



「虫歯ゼロです！」

編集後記

今月号からチーム百合ヶ丘の職員を少しづつですが紹介していこうと思います★

レジデンシャル百合ヶ丘 広報委員会

百合ヶ丘便り

発行日 2019年 9月20日

発行所 レジデンシャル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市麻生区東百合丘1-12-35 <http://www.ikumeikai.net/yurigaoka/>



7月10日

セタコンサート

“たんぼほの会”と“フレンドハーモニー”の皆様によるセタコンサートが開催されました。

セタ7月10日
コンサート

出演
たんぼほの会
フレンドハーモニー

場所
一番街マルシェ

時間
十四時～十五時



美しく、そして和やかな
歌声に包まれて、素敵な時間を
過ごすことができました。



12月21日(土)には
クリスマスコンサートを開催する予定ですので、
お時間がありましたら是非お出掛けください。



SOMETHING サムシング サマーコンサート

男女5名の混声コーラスグループのSOMETHINGは、
レジデンシャル常盤台で年数回のコンサートを開催しており、
今回はレジデンシャル百合ヶ丘に出張していただきました。5名が織り成すハーモニーは、
時を忘れ、いつまでも聴いていなくなるほど。
次回は12月4日(水)イルミネーション点灯式にお越しいただく予定です。



利用者懇談会

7月17日(水)にご利用者のみなさまとの懇談会を開催し、40名の皆様にご出席いただきました。



ラジオ体操にはもっと自主的に参加した方がいいと思う



参加回数に応じて景品がもらえると言うのはどうでしょうか

ご利用者から満場一致の拍手が鳴り…

来月からやりましょう!

その後……

ポイント制にしてポイント毎に喫茶店セットやよいどころが無料になる特典が付くようになりました。



様々なご意見やご提案をいただき、ご利用者同士で意見を交わす場面も…。皆様がより暮らしやすい施設を目指したいと思います。



女学校のころから百人一首が好きなので、どなたか一緒にやりませんか?

ご利用者主体のサークル活動として、皆さんをお誘いしては如何でしょうか? 職員もお手伝いいたしますよ。

その後……

毎月第2日曜日にご利用者が喫茶店に集まって百人一首をする場を設けました。

チーム百合ヶ丘職員紹介～クリーンエイド編～

レジデンシャル百合ヶ丘にはケアエイドと呼ばれる、その道のエキスパートがいます。今回はその中でも「クリーンエイド」と言われる清掃エキスパートのチームを紹介致します。

鈴木清美



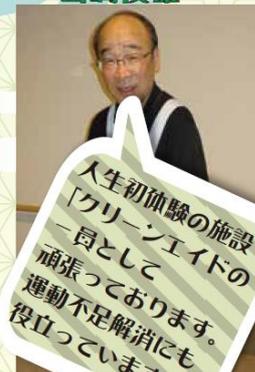
仕事で1日7000~8000歩歩きます。仕事して健康第一です♪

北野里美



好きなアーティストのライブを見に行くのが楽しみです★

山崎俊雄



人生初体験の施設! 「クリーンエイド」一員として頑張っております。運動不足解消にも役立っています!

編集後記

今月はいよいよサマーフェスタ! その様子は9月号にて掲載致します。準備が命!!

レジデンシャル百合ヶ丘 広報委員会

百合ヶ丘便り

発行日 2019年 11月6日

発行所 レジデンシャル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市麻生区東百合丘1-12-35 <http://www.ikumeikai.net/yurigaoka/>

サマーフェスタ IN マルシエ 2019

8月15日に当施設最大級イベント“サマーフェスタ in マルシエ 2019”が、賑やかに、華やかに行われました！



立石様ご一家(4世代)による開会宣言で幕を開け、ご利用者やご家族、多くの地域の皆様にもお越しいただき、楽しんでいただきました。



Special Thanks !

西塔之越自治会、横濱寿太鼓、千寿美会、ブア・ホ・アロハワラサークル、秀美会



9時30分だよ!!
ラジオ体操

ご利用者の皆様に意欲的に参加いただけるよう、
ポイントカードを発行!!
ポイントに応じて“カフェマルシェ無料券”
や“よいどころ無料券”がもらえる特典付き!
楽しく!健康的に!そして美味しいラジオ体操、
毎朝絶賛開催中!



第2日曜日は!!
百人一首の会

ご利用者が発起人となり、いつ、どのように実施するのか、施設長への熱いプレゼンを経て活動をスタート!!各地での勧誘により毎回5~6名のご利用者が集まります。

「秋の田の~ かりほの庵の苫をあらみ~
わが衣手は霽にぬれつつ~」
「わが衣手に霽にぬれつつ~」

雅な刻が流れます。



チーム百合ヶ丘 ~ 洗濯エイド編 ~

今月は毎日ご利用者の衣類をキレイに洗濯してお届けしている洗濯エキスパートのチームを紹介致します。

山野草
大好きです!!

聖母との時間が
愛らぎのひと時です。

巨人ファン!!
日本一になったら
優勝パレードを
見に行きたい!

台湾出身!!
利用者との会話が
楽しみの一つです。



植田恵津子



吉岡明美



秦明子



劉幼君

編集後記

サマーフェスタお疲れ様でした!次号は敬老の日!今から色々準備してます。

レジデンシャル百合ヶ丘 広報委員会

次年度へ続く・・・

事業報告書

委員会名称	行事委員会		
報告書作成日	2020年4月9日	委員長	大西
構成委員 スーパーバイザー	大西 CW、大城 CW、中里 CW、林栄養士、外池、山中 高橋施設長		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>利用者様のあらゆるニーズに応えるべく、四季にあった行事を開催し、季節を感じながら日常生活を送って頂くとともに、地域社会や他者とのコミュニケーションの場を設け、活動活性化・QOLの向上を目指した取り組みとして、行事の企画・開催をする。</p> <p><活動日></p> <p>毎月第二月曜日</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>●お花見 4月1日、4月4日</p> <p>4月1日 午前に西長沢第三公園にて、桜を見て頂き春を感じて頂いた。施設に戻りお汁粉を頂いた。午後雨天の為中止し、4月4日 午後に百合ヶ丘第二公園にて、お汁粉を頂き、桜を見ながら春の季節を感じて頂いた。</p> <p>●シャンソンコンサート 5月2日</p> <p>ご利用者様のご家族の関係でシャンソン歌手2名にてシャンソンコンサートを行いました。</p> <p>●キッズフェスタ 5月5日</p> <p>こどもの日に、ちなんで地域の子供たちが集い、楽しめるキッズフェスタを開催した。多くの地域住民の方が参加され地域密着型のイベントで、利用者様もコミュニケーションをとれる場となり一緒に楽しんで頂いた。</p> <p>●アスカーズコンサート 5月11日</p> <p>事務長のつながりのアスカーズバンドにてコンサートを行いました。</p> <p>●七夕コンサート 7月10日</p> <p>各番外、利用者様と一緒に笹を飾り、願い事を書いて頂いた。 たんぼぼの会とフレンドハーモニーの皆様によるコンサートをマルシェにて行った。</p>			

- サムシングコンサート 8月3日
サムシングの皆様によるコンサートを行いました。

- サマーフェスタ 8月17日
全職員が一丸となって夏のお祭りを開催した。利用者様、ご家族、多くの地域住民の方が参加され、楽しい時間を共有した。またボランティアの方のご協力もありフラダンスショーや花火も子供たちと一緒にいった。

- 敬老祝賀の集い 9月13日 9月16日
9月13日 会食の部では、寿司バイキングを行った。
9月16日 式典の部では、ご長寿のお祝い、理事長、川崎市長からの祝辞やご利用者へプレゼント(衣類等収納ボックス)贈呈。
お楽しみの部では、高橋施設長、脚本演出の育明会一座による歌で綴る思い出の昭和を行った。

- 秋の大運動会 10月18日
季節を感じていただきリハビリを兼ねた運動とゲームで楽しんでいただいた。番街対抗で行い、車椅子上でも行える競技を考案し、職員も応援協議で利用者様と一丸となり楽しんでいった。

- よいどころ、クリスマスコンサート、イルミネーション点灯式 12月4日
よいどころ開催に合わせて、サムシングの皆様によるクリスマスコンサート、イルミネーションの点灯式を行った。

- お餅つき 12月8日
地域主催のお餅つきをエントランスにて開始し、利用者様、職員も一緒に参加させていただいた。お餅つきを行い、マルシェにてお餅を味わって頂いた。

- クリスマスバイキング 12月20日
バイキング形式の食事を用意し、季節を感じながら食事を楽しんでいただいた。職員は利用者様にクリスマスメッセージカードを作成しお渡しした。また、利用者様と一緒にクリスマスツリーや各フロアに飾り付けを行った。

- たんぽぽの会&フレンドハーモニーコンサート 12月21日
たんぽぽの会とフレンドハーモニーの皆様によるコンサートをマルシェにて行った。

- ジブリの森コンサート 12月28日
鈴木ピアノ教室の皆様によるコンサートを行った。

●元旦祝膳 1月1日

新年を迎え、お屠蘇で乾杯をし、会食を頂いた。また、各ユニット、共有スペースに正月飾りを行い、新年を迎えた。

●新年祝賀の集い 1月5日

新年祝賀の集いでは年の初めを祝い、千寿美会による舞踊、秀美会による民謡ショー、大森はやし会による獅子舞いの演目で利用者様と一緒に楽しみ、一年の無病息災を願った。

●節分豆まき 2月3日

利用者様と職員で豆まきを行い、邪気を払って一年の無病息災を願った。鬼役の職員は各番街をまわり、年男年女の職員と利用者様を中心に豆まきを行った。利用者様で年男年女のご家族も参加して頂いた。

●ひなまつりコンサート 3月4日

各番街の共有スペースにひな人形を飾った。

ひなまつりコンサートでは、たんぼぼの会とフレンドハーモニーの皆様によるコンサートを楽しんで頂いた。

<次年度に向けて>

- ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、前期は昨年同様の行事の開催は難しい為、代替えの行事等の開催を企画していく。
- ・昨年度の反省を活かして、利用者様がより良く楽しめ、又運営もスムーズに行えるようにする。
- ・昨年同様、地域性を活用し、地域密着型の施設運営を行っていく。

以上

事業報告書

委員会名称	研修委員会			
報告書作成日	2020年 4月 11日	委員長	西山 奈智子	
構成委員 スーパーバイザー	鈴木貴之主任・米田昭子・石川良子・大橋紀穂・ 佐藤係長			
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間	
<p><目的及び課題></p> <p>研修の企画、運営、施設内研修実施報告書作成、研修後の報告書回収・管理、ポイント管理</p> <p><活動日></p> <p>毎月第三水曜日 16時30分～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>運営基準に基づいた研修、職員の技能・知識向上を目的とした研修の企画・運営を行った。 年間で実施した研修については下欄参照。</p> <p>2019年度 研修実施一覧</p>				
日時	研修内容	講師	受講人数	時間(分)
5月13日	緊急時の対応・救急対応について	高橋統括施設長	50名	90分
5月17日				
5月16日	食事について知ろう ～基本を学ぼう～	レジデンシャル常盤台 廣瀬介護係長	31名	90分
5月23日				
5月30日				
5月28日	食中毒・感染症予防研修	高橋事務長	53名	90分
6月5日				
6月10日	自分自身をリスペクトするために ～法人援助サービスにおける接遇マナー～	高橋統括施設長	34名	90分
6月28日				
6月26日	権利擁護研修	小川佳子法律事務所	24名	120分
	～そのケア適切？不適切？ 高齢者虐待を防ぐ為に～	小川佳子弁護士		
7月12日	褥瘡予防対策研修 ～廃用性症候群について知ろう～	高橋統括施設長	20名	90分
7月24日				
7月19日	腰痛予防研修（労働安全研修） ～腰痛は頭と尻で治す～	静岡県立リハビリテーション科	40名	90分
7月26日		間野和貴 科長		

日時	研修内容	講師	受講人数	時間(分)
7月23日	オムツの当て方・選び方	リブドゥコーポレーション	12名	60分
8月1日		樋口祐実氏		
8月7日	スキルアップ研修 ～認知症を知ろう～	高橋統括施設長	16名	90分
8月14日				
9月11日	腰痛予防研修～実技編～ (労働安全研修)	児玉陽子 講師	28名	90分
10月10日	褥瘡予防対策研修 ～身体にかかる圧の影響と対策～	モルテン(株)	23名	60分
		石水達也氏		
10月28日	感染症予防研修 ～施設感染症予防の仕組みと実践～	高橋事務長	52名	90分
11月8日				
11月29日	口腔衛生研修 ～口腔ケアについて～	東山田ヒルズクリニック 上笹真さをり医師	31名	60分
12月13日				
12月18日	肝臓との上手な付き合い方 ～飲量できない脂肪肝・アルコール性肝障害～	湘南泉病院消化器内科 初谷守明 医師	33名	90分
1月21日	紙タイプ清拭の使い方 ～陰部洗浄の方法～	リブドゥコーポレーション	25名	60分
1月22日		飯田氏		
2月12日	事故発生防止研修 ～事例検討会～	高橋統括施設長	39名	90分
3月11日	新型コロナウイルス ～罹らない・持ち込まない・拡げない～	高橋事務長	82名	90分
3月13日				
3月17日				

合計受講者人数：8593名 合計時間：1440分

<2019年度ポイントゲッター>

ポイントカードを作成し、研修実施時にスタンプで押印し、研修参加回数の多い職員上位3位は以下の通りとなる。2020年3月末にポイントゲッターとして表彰を行い、豪華粗品の謹呈を行った。

順位	獲得ポイント	氏名
1位	34ポイント	西山 奈智子 ・ 高柳 みゆき
2位	32ポイント	米田 昭子 ・ 大金 美保 ・ 中里 蘭
3位	30ポイント	谷平 佳津江

<2019 年度総括>

昨年度と比べ多くの研修を開催する事ができた。また各管理職の皆様や委員会職員の周知により多くの職員への参加して頂く事ができた。しかし今年度は委員会議開催を確実に行えておらず、研修開催のリリースが遅くなってしまう事もあった。また今年度からは他委員会とのコラボレーション研修の開催も実施し、協力体制を組む事ができた。

<次年度に向けて>

委員会の開催を確実に行っていくと共に、各委員会職員の役割についても検討し、全委員で委員会を軸としての研修開催・実施について取り組んでいく必要がある。

また次年度は、介護福祉士の受験へ向け「介護福祉士受験対策講座」を進めていかななくてはならない為、一層研修を充実させ職員のスキルアップを目的とし飛躍する一年にしていかななくては

いけない。この為に委員会にて年間研修スケジュール構築を行い、早めに研修開催をリリースし1人でも参加して頂けるように対応をしていく。

以上

事業報告書

委員会名称	栄養食事検討委員会		
報告書作成日	2020年4月3日	委員長	山崎 なみき
構成委員 スーパーバイザー	山崎介護係長、中里蘭、木村彩那、菅井 高橋施設長		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>食事を通してご利用者に喜ばれる食事の提供、四季折々の季節に沿った食事を提供 日々の食事時提供や質の向上を目的とした</p> <p><活動日></p> <p>毎月 第一水曜日 16:30～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>① 主食（おかゆ）提供食器の大きさについて</p> <p>おかゆの提供量を検討し全体の提供量を減らした為、今まで使用していた食器では 適正量にもかかわらず少なく見えてしまうという指摘があり。 食器の検討を行い、様々なお茶碗を委員会職員にて購入、検討を行った。 しかし、職員の入れ替わり、体調不良者の長期休職などから思うように検討できず早期から 検討していたにもかかわらず購入、使用までに半年以上かかってしまった。現在は、適 切な食器を使用し、また、食器柄を様々なものとしたため目で楽しむというメリットが生 まれた。</p> <p>② 水分ゼリーについて</p> <p>お茶ゼリーにはイオンゼリーと紅茶で作成したお茶ゼリーの2種類があるが、イオンゼリー にはいくつかの種類があるにも関わらず何のゼリーを提供しているのかからない、お茶ゼリー に関しては利用者より「味も何も感じない」というご意見が聞かれた。 お茶ゼリーに関しては、茶葉の抽出時間や砂糖の割合を検討し試食を行ったがどの状態が良 いか迄は決めることが出来なかった。現在は、手作りのゼリーであるが市販のほうじ茶ゼリー や紅茶ゼリーなどの試作、試食、検討を行う必要がある。</p> <p>イオンゼリーに関しては、厨房でいくつかのゼリーを順番に作成していることから、献立に 記載し何のゼリーであるのかわかるようにした。その結果、食事介助の際に声掛け促しができ るようになった。</p>			

③ 非常時の食事提供について

通常提供を行っているが、外出や体調不良などから提供食が召し上がれない可能性がある。特に、腹部症状などの体調不良から急な食事形態変更も考えられる。レトルトのおかゆやご飯をストックし提供できるよう整備をしていく。しかし、職員への周知、ストック場所などの決定ができておらず次年度の検討材料となってしまった。

<次年度に向けて>

委員会としての初年度であったことや職員の入れ替わりや休職などから、様々な検討材料があるにもかかわらず早急に検討実施することが出来なかった。今年度、積み残した検討材料を次年度は早期に検討、実施を行い、今後は食事内容や行事など季節に応じた食事内容の検討を、他委員会（行事委員会など）と協力し食事としてのみならず楽しんで食事を召し上がって頂けるようにしていきたい。

- ① お茶ゼリーの適切な作成方法の確立
- ② 利用者の体調不良などに使用できるようレトルト食品の保管法の決定、周知
- ③ 各季節に応じた食事に対し、献立・料理の提案
- ④ 入居者の嚥下機能にあった食事形態、とろみの付け方などの検討

以上

事業報告書

委員会名称	入浴ケア検討委員会		
報告書作成日	2020年4月9日	委員長	米田 昭子
構成委員 スーパーバイザー	信田 高山 西山 佐々木 大城NS 米田 高橋統括施設長 佐藤係長		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題> 入浴に関するケア及び質の向上を図る為の取り組みを行う。</p> <p><活動日> 毎月第2金曜日 16:30～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>①変わり湯「名湯めぐり」の実施 ‘2019年6月から2020年3月迄毎月一回温泉の入浴剤を使い全国の名湯を楽しむ「名湯めぐり」を実施した。 お湯の種類は箱根、別府、道後、有馬、白浜、奥飛騨、草津、湯沢、吉野温泉を行い12月は本物の柚子をお湯に浮かべ、柚子の湯を実施する。 ポスターを各番街やエレベーターに貼り、入居者様や御家族、職員にも周知した。 イーゼルには巨大ポスターを貼り、入浴時間に浴室入口に飾って温泉の雰囲気盛り上げた。 脱衣所では温泉地に合った曲を流し、耳からも温泉の雰囲気を楽しむ工夫をした。 年度末には職員に名湯めぐりや入浴全般に関するアンケートを行った。名湯めぐりは初めての企画であったが入居者様には好評だったと見受けられた。その他職員から入浴に関する意見が多数あり今後の課題となった。</p> <p>②暖簾の洗濯 暖簾を衛生的に保つため洗濯エイドに依頼して定期的に洗濯する事にした。 一度も洗濯したことがなかったので清潔になり良かったと思う。</p> <p>③入浴に関する物品の在庫管理や不足物品の購入 昨年度の購入品は浴着、サンダル、温度計、新入居の方のお風呂バッグ、イーゼル、温泉入浴剤 サンダルを収納するラックはまだ買っていないが是非購入したい。</p>			

④浴室の環境整備

昨年度の最初の頃F浴に入居者様の洗った靴等が干してあり問題になったが、現在は置かれていない様子。しかし引き続き置かない様注意が必要。

⑤入浴表の見直し

オープンして3年近く経ち入居者様の人数が増え、曜日によって入浴人数に偏りがあった。ADLも変化している為見直しを行なった。現在は適正な入浴表になったと見受けられる。

<次年度に向けて>

改善点が多く次年度以降に課題を残したまま一年間が終わったと感じる。

昨年度は委員会のメンバーが集まる事が難しく表面的な問題しか解決出来なかったと思う。

今年も入浴の楽しみを提供しながら、それと同時に入浴ケアについて検討し、ケアの標準化や質の向上を図りたい。

以上

事業報告書

委員会名称	排泄ケア検討委員会		
報告書作成日	2020年3月31日(火)	委員長	山崎 諭憲
構成委員 スーパーバイザー	石間副主任、山崎看護副主任、先崎、石附 高橋統括施設長、山崎		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>ご利用者の自立支援を促進すべく、社会性や生活の潤いを高め、よりよいQOLを提供する為排泄に関するあらゆるケアの方法、環境、ニーズに関して、意見を徴収し委員会にて協議、発信する。</p> <p><活動日></p> <p>毎月第四金曜日 16時30分～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>① 新規入居者をお迎えする上でフロアの排泄環境の整備から取り組み。2019年8月から9月にかけて四番街1丁目の排泄環境を整備、足りない物品を補充した。</p> <p>② 同時に紙おむつの構造、適切な介助方法とは、とは何かに着目し紙おむつに関する正しい知識を職員に周知する為、東基さんに講師を依頼し研修を開催した。</p> <p>③ 排泄介助時にはオムツやオムツを破棄する為のビニール袋を排泄バッグと呼ばれるバッグにストックし使用するが、排泄バッグを乱雑に扱うことが多く、中身がゴチャゴチャするという意見が職員から挙がり、衛生面も考慮し排泄バッグの中に仕切りを設ける等、手作りの排泄バッグ作成に取り掛かった。姉妹施設のレジデンシャル常盤台にて先立って使用していた排泄バッグをお試しにて使用開始、同時に常盤台にて排泄バッグを作成しているリネンエイド職員へ排泄バッグの見本を作成して頂くよう依頼し、2019年12月より百合丘にて使用開始している。</p> <p>④ 2番街多床室における排泄環境面において、排泄介助を実施したか否かの簡易チェックが出来ないか、と職員から挙がり、簡易チェックをする為のマグネット式のボードをオムツを破棄するクリーンルームに設置。排泄介助を終えた足でボードのマグネットをずらすことで排泄介助が終了しているサインとして周知し、2019年10月より使用開始している。</p>			

- ⑤ バルーン留置しているご利用者の増加に伴い、バルーンを隠すカバーの作成を洗濯エイド職員へ依頼し作成、使用開始している。(2019年12月)
- ⑥ 2020年2月より布タイプの清拭タオルから紙タイプの清拭へ変更するにあたり、榎東基さん、リブドゥコーポレーションへ紙タイプの清拭の使用方法、清潔ケアに関する研修を依頼し、2020年1月21日、22日に開催した。

<次年度に向けて>

本年度よりゼロからスタートした当委員会ではあるが、姉妹法人において排泄ケア検討委員会の活動を目の当たりにし当施設に異動した職員を据え、一年間活動してきた。シフトサイクルで勤務を行う関係上、委員会自体が開催出来ないこともあり、計画、実施、評価をする期間が長くなってしまった為、次年度は速やかに行動し、職員間で情報共有していきたい。

また、排泄介助に関する実演研修、プライバシーに関する研修等も実施し、職員のケアスキルの標準化にも尽力を尽くしていきたい。

事業報告書

クラブ名称	民謡クラブ																																														
報告書作成日	2020年4月10日	主担当	山中 辰																																												
担当職員	外池永尚、山中辰、大金美保、西山奈智子																																														
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日	12	ヶ月間																																										
<p><講師></p> <p>秀美会会主 大塚千代美先生 尺八奏者 飯田俊孝様 三味線 高浪真紀子様</p> <p><ボランティア></p> <p>渡辺様、栗谷川様、安田様 誘導及び見守り補助のボランティア</p> <p><定例活動日></p> <p>毎月第2木曜日・第4月曜日 14:00～15:00</p> <p><活動実績（日時：参加人数：内容等）></p> <p>民謡クラブ開催日には、早くから開催場所で待機しているご利用者がいるほど、大塚先生が来るのを楽しみにされており、先生のご指導の下、尺八、三味線、太鼓の生伴奏で各地の民謡を歌っている。民謡クラブは、心身の状態にとらわれずに、どなたでも参加ができるクラブ活動であり、毎回多くのご利用者が参加されている。</p> <p>(開始からの流れ)</p> <p>13:45～誘導開始 14:00～ 民謡クラブ開始 15:00～ 終了・誘導・反省会</p> <p>2019年度の活動実績は以下のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> <th>実施月</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>2回</td> <td>77名</td> <td>10月</td> <td>2回</td> <td>70名</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>2回</td> <td>62名</td> <td>11月</td> <td>2回</td> <td>71名</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>2回</td> <td>74名</td> <td>12月</td> <td>2回</td> <td>68名</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>2回</td> <td>76名</td> <td>1月</td> <td>1回</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>1回</td> <td>38名</td> <td>2月</td> <td>2回</td> <td>61名</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>2回</td> <td>76名</td> <td>3月</td> <td>2回</td> <td>52名</td> </tr> </tbody> </table> <p>計 22 回、759 名が参加した。</p> <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新曲も取り入れながら、みなさまに楽しんでいただけるクラブ活動を継続したい。 						実施月	実施回数	参加人数	実施月	実施回数	参加人数	4月	2回	77名	10月	2回	70名	5月	2回	62名	11月	2回	71名	6月	2回	74名	12月	2回	68名	7月	2回	76名	1月	1回	33名	8月	1回	38名	2月	2回	61名	9月	2回	76名	3月	2回	52名
実施月	実施回数	参加人数	実施月	実施回数	参加人数																																										
4月	2回	77名	10月	2回	70名																																										
5月	2回	62名	11月	2回	71名																																										
6月	2回	74名	12月	2回	68名																																										
7月	2回	76名	1月	1回	33名																																										
8月	1回	38名	2月	2回	61名																																										
9月	2回	76名	3月	2回	52名																																										

以上

事業報告書

クラブ名称	ミュージックピアッツァ		
報告書作成日	2020年4月14日	主担当	山中 辰
担当職員	山中辰、廣野園子、大橋紀穂、外池永尚		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間

<定例活動日>

毎月第2火曜日・第4火曜日 13:45～14:30

<講師>

玉本博恵先生（リリムジカ所属）

<活動実績（日時：参加人数：内容等）>

ミュージックピアッツァは、講師に音楽療法士の玉本先生をお招きし、毎月2回の音楽療法“ミュージックピアッツァ”を行っている。

歌の選曲は、季節、流行、ご利用者からのリクエストなどを取り入れ、導入、体を動かす楽曲、楽器を使う楽曲、終わりの曲といったプログラムと、プログラムに基づいた、歌手の顔写真やレコードのジャケット写真など、歌に関係する写真や絵も先生がご用意下さっている。開催中はそれらを大型スクリーンに投影し、歌を回想できるようにしている。

開催する日は、開始前から待機しているご利用者もあり、皆様とても楽しみにされている。

また、川崎市音楽療法推進事業にも取り組んでおり、1年を通して数名のご利用者を対象に取組の評価を記録し、年度末に報告書を作成して川崎市に提出する予定。

（開始からの流れ）

13:30頃 誘導開始 13:45 ミュージックピアッツァ開始 14:30 終了・振り返りと評価

<次年度に向けて>

年度途中で新規入所されたご利用者もいるため、評価対象とすることをご利用者を再考し次年度も取り組んでいきたい。

先生とご相談し、簡単にできる運動や遊び心のある曲の選び方、次のリクエスト曲等、もっと取り入れていければと思う。

2019年度の活動実績は以下のとおり。

月	日付	参加人数	実施月	日付	参加人数
4月	9日	32名	10月	8日	34名
	23日	29名		22日	25名
5月	14日	35名	11月	12日	34名
	28日	35名		26日	36名
6月	11日	39名	12月	10日	35名
	25日	36名		24日	36名
7月	9日	42名	1月	14日	36名
	23日	34名		28日	32名
8月	13日	38名	2月	11日	33名
	27日	42名		25日	29名
9月	10日	40名	3月	10日	39名
	24日	34名		24日	22名

計 24 回開催、827 名参加

以上

事業報告書

クラブ名称	のど自慢大会		
報告書作成日	2020年4月11日	主担当	山中 辰
担当職員	山中辰、諏江信雄、外池永尚、大橋紀穂、浦山真理子		
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日 12ヶ月間
<p><定例活動日> 毎月第1水曜日・第3水曜日 14:00～15:00</p> <p><ボランティア協力> ご利用者の誘導及び見守りの補助 渡辺様、栗谷川様、安田様</p> <p><活動実績（日時：参加人数：内容等）> のど自慢大会はカラオケ機器の得点モードを使用し、ご利用者同士で得点を競いあい、当回の優勝、準優勝を決め、トロフィーを授与している。トロフィーは居室に飾り保管し、次回で返還することとしている。 今では、居室にトロフィーを飾ることが、大会のステータスになっている。 年末には1年の締め括りとして“グランドチャンピオン大会”を開催し、優勝者には大きなトロフィーを授与、優勝者の称号としてペナントに名前を記入して飾っている。</p> <p>のど自慢大会開催の時期が近づくとご利用者があらかじめ何を歌うか決めている事もある。練習の唄声がフロアから聞こえる事もあり、のど自慢大会への参加を楽しみにしているご利用者が多い。開催日の午前中、担当が各番街を訪ねて、大会にエントリーするご利用者を募り、歌う曲名を確認することで、会の進行がスムーズになるように工夫している。</p> <p>今年度は、カフェマルシェの諏江マスターが関わり始めたことで、のど自慢大会に向けた“練習”が盛んに行われている。ご利用者数名がカフェマルシェに集まり、次回の優勝を目指して勝負曲を猛特訓している姿も多く見られ、ご利用者の生活の刺激になっている。なお、誘導や見守りのボランティアとして、地域にお住いの渡辺様、栗谷川様、安田様にご協力くださっており、大変助かっている。ご協力に感謝したい。</p> <p>(開始からの流れ) 13:45頃 誘導開始 14:00 のど自慢大会開催 14:55 結果発表&トロフィー授与</p>			

<次年度に向けて>

エントリーするご利用者が固定されてきているので、新たにエントリーしてくださるご利用者を増やしていきたい。そのためにも、自らの意思表示が少ない方でも、普段の関りの中から好きな歌や得意な歌を探るようにし、参加に繋げていきたい。

また、採点の結果、得点が同点となり、得点だけでは順位が決定できないこともあるため、順位の決定についてはご利用者にも明確にご説明できるようにしていく。

エントリーするご利用者数も徐々に増え、1時間の開催時間だけでは間に合わないことも想定されるため、運営方法を考える必要がある。

2019年度の活動実績は以下のとおり。

実施月	日付	参加人数	優勝者	準優勝者
4月	17日	33名	大本様	大石様
5月	1日	28名	八木沼様	神部様
	15日	31名	山崎様	大石様
6月	5日	42名	吉澤様	大石様
	20日	27名	植松様	渡邊しげ子様
7月	3日	28名	芝山様	吉澤様
	24日	30名	大石様	植松様
8月	14日	28名	大本様	渡邊しげ子様
	21日	26名	大本様	宮澤様
9月	4日	31名	大石様	吉澤様
	18日	26名	植松様	伊藤様
10月	3日	32名	植松様	神部様
	17日	35名	大石様	津田様
11月	6日	36名	伊藤様	吉澤様
	20日	31名	神部様	大石様
12月 グラチャン	11日	30名	伊藤様	大本様
	18日	32名	吉澤様	伊藤様大本様
1月	9日	33名	紅白歌合戦	
2月	19日	32名	伊藤様	植松様
3月	11日	36名	伊藤様	神部様
	25日	21名	審査なし	

計 21 回開催、648 名参加

以上

事業報告書

クラブ名称	よいどころ																																						
報告書作成日	2020年4月10日	主担当	外池 永尚																																				
担当職員	諏江信雄、米田昭子、大西博之、相談支援係、事務係 浦山真理子、劉幼君、廣瀬千鶴、米田和奏、外池永尚																																						
スーパーバイザー	高橋統括施設長																																						
報告期間	2019年4月1日	～	2020年3月31日																																				
			12ヶ月間																																				
<p><活動日></p> <p>毎月1回程度 16:00～17:30</p> <p><活動実績（日時：参加人数：内容等）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・常盤台農園の旬の野菜を使いながら、美味しいおつまみとお酒、ジュースを提供し、後半はカラオケをご利用者に楽しんで頂いている。 ・高橋統括施設長を中心に担当職員が調理を担当し、日常の食事では提供できないものや、ご利用者からのリクエストにもお応えしながら、家庭的な料理を提供している。 ・ご利用者の食形態に合わせて食べやすいように臨機応変に対応し、食欲が低下した方には食をそそるような料理を提供している。 <p>*今年度の活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加人数</th> <th>メニュー等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月10日</td> <td>35名</td> <td>筍ご飯、若竹煮、キャベツときゅうりのお漬物</td> </tr> <tr> <td>5月22日</td> <td>28名</td> <td>カツオのたたき、アスパラガスの生ハム巻、スナップエンドウ</td> </tr> <tr> <td>6月12日</td> <td>33名</td> <td>スタミナ焼、蕪のポタージュ</td> </tr> <tr> <td>7月19日</td> <td>34名</td> <td>肉じゃが、キュウリの酢の物</td> </tr> <tr> <td>9月25日</td> <td>33名</td> <td>かぼちゃサラダ、焼鳥</td> </tr> <tr> <td>10月23日</td> <td>35名</td> <td>焼うどん、柿とブロッコリーのサラダ、切り干し大根のお浸し</td> </tr> <tr> <td>11月15日</td> <td>38名</td> <td>チキンナゲット、蕪のコーンクリーム煮</td> </tr> <tr> <td>12月4日</td> <td>30名</td> <td>お寿司、磯部揚げ、大根の煮物</td> </tr> <tr> <td>1月29日</td> <td>31名</td> <td>おでん、おつまみ三種</td> </tr> <tr> <td>2月26日</td> <td>30名</td> <td>大根と鶏肉の煮物、てまり寿司と金時豆とお新香の三種盛り</td> </tr> <tr> <td>3月18日</td> <td>34名</td> <td>ふろふき大根、ほうれん草とベーコンのソテー、そら豆、焼き魚</td> </tr> </tbody> </table> <p>計11回、延361名が参加された。 1回来店者数：平均32.8名</p> <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回のよいどころを皆様とても楽しみにされているため、引き続き、安全に、美味しく、楽しんでいただけるよう、担当者間で連携し、運営していきたい。 <p style="text-align: right;">以上</p>				実施日	参加人数	メニュー等	4月10日	35名	筍ご飯、若竹煮、キャベツときゅうりのお漬物	5月22日	28名	カツオのたたき、アスパラガスの生ハム巻、スナップエンドウ	6月12日	33名	スタミナ焼、蕪のポタージュ	7月19日	34名	肉じゃが、キュウリの酢の物	9月25日	33名	かぼちゃサラダ、焼鳥	10月23日	35名	焼うどん、柿とブロッコリーのサラダ、切り干し大根のお浸し	11月15日	38名	チキンナゲット、蕪のコーンクリーム煮	12月4日	30名	お寿司、磯部揚げ、大根の煮物	1月29日	31名	おでん、おつまみ三種	2月26日	30名	大根と鶏肉の煮物、てまり寿司と金時豆とお新香の三種盛り	3月18日	34名	ふろふき大根、ほうれん草とベーコンのソテー、そら豆、焼き魚
実施日	参加人数	メニュー等																																					
4月10日	35名	筍ご飯、若竹煮、キャベツときゅうりのお漬物																																					
5月22日	28名	カツオのたたき、アスパラガスの生ハム巻、スナップエンドウ																																					
6月12日	33名	スタミナ焼、蕪のポタージュ																																					
7月19日	34名	肉じゃが、キュウリの酢の物																																					
9月25日	33名	かぼちゃサラダ、焼鳥																																					
10月23日	35名	焼うどん、柿とブロッコリーのサラダ、切り干し大根のお浸し																																					
11月15日	38名	チキンナゲット、蕪のコーンクリーム煮																																					
12月4日	30名	お寿司、磯部揚げ、大根の煮物																																					
1月29日	31名	おでん、おつまみ三種																																					
2月26日	30名	大根と鶏肉の煮物、てまり寿司と金時豆とお新香の三種盛り																																					
3月18日	34名	ふろふき大根、ほうれん草とベーコンのソテー、そら豆、焼き魚																																					